

子ども・子育て支援ニーズ調査

結果報告書

(小学生)

令和2年3月

魚沼市教育委員会事務局 子ども課

目 次

問NO	質問内容等	ページ
	ニーズ調査の概要	1
1	お子さんからみた関係	2
2	回答者の配偶関係	2
3	対象のお子さんの学年	2
4	子育てを主に行っている人	3
5	お住まいの地域	3
6	お子さんを預かってもらえる人の有無	3
	祖父母等の親族に預かってもらう事に関する状況	4
	友人・知人に預かってもらう事に関する状況	4
7	相談できる人や場所の有無	4
	相談できる人や場所	5
8	子育てに関する情報の入手先	5
9	子育てをする上での不安や悩み	6
10	子育てをされていてよかったこと	6
11	母親の就労状況	7
	① 就労状況と就労時間	7
	② フルタイムへの転換希望	8
	③ 就労希望	9
12	父親の就労状況	10
	① 就労状況と就労時間	10
	② フルタイムへの転換希望	12
	③ 就労希望	12
13	放課後の過ごし方について	13
	放課後を過ごす場所(1週当たりの日数 現状)	14
	放課後を過ごす場所(1週当たりの日数 希望)	15
14	学童保育の利用希望について	16
	平日の希望	16
	土曜日の希望	17
	日曜日・祝日の希望	17
	長期休暇中の希望	18
15	保護者の用事で子どもを家族以外に預ける際の対応等	18
	日帰りで預けた日数	19
	宿泊で預けた日数	20
16	病気やケガの際の対応について	20
17	病児・病後児保育事業の利用希望について	22
18	子どもが病気等の際にできれば仕事を休んで看護したい希望	23
19	子育てに関して地域に望むこと	24
20	子どもを健やかに生み育てるために、市に期待すること	24
21	安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容について	25

ニーズ調査の概要

①調査の目的

子ども・子育て支援法第 61 条に基づく計画の策定に向けて、子ども・子育てに関する実態とニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として就学前児童及び小学生の保護者を対象に調査（以下「ニーズ調査」という。）を行いました。

②調査設計

ア 調査対象

本市に居住する平成 18 年 4 月 2 日から平成 30 年 11 月 1 日（小学 6 年生から 0 歳）の間に生まれた子どもの保護者全員を調査対象としました。

ただし、複数の児童がいる世帯には、最年少児童についてのみ回答を依頼しました。（1 世帯に 1 枚のみ配布）

調査種類	調査対象	配布数
就学前児童	本市在住の就学前児童の保護者	1,077
小学生	本市在住の小学生の保護者	855

イ 調査期間

平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月

ウ 調査方法

調査種類	調査対象
就学前児童	保育園・幼稚園等の通園者は園を通じて配布・回収 未就園者は郵送による配布・回収
小学生	原則、小学校を通じて配布・回収 ただし、一部については郵送による配布・回収

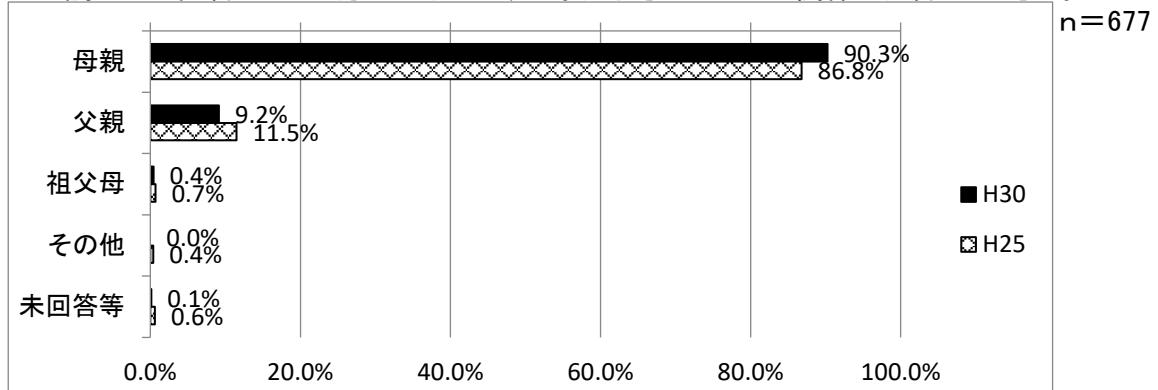
③回収結果

調査種類	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,077	778	778	72.2%
小学生	855	677	677	79.2%

④結果の見方

- ・結果は百分率（％）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100%にならないことがあります。
また、複数回答（2 つ以上の回答）では、合計が 100%を超える場合があります。
- ・図表中の「n（number of cases の略）」は、質問に対する回答者の総数（該当者質問では該当者数）を示し、回答者の比率（％）を算出するための基数です。
- ・回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。

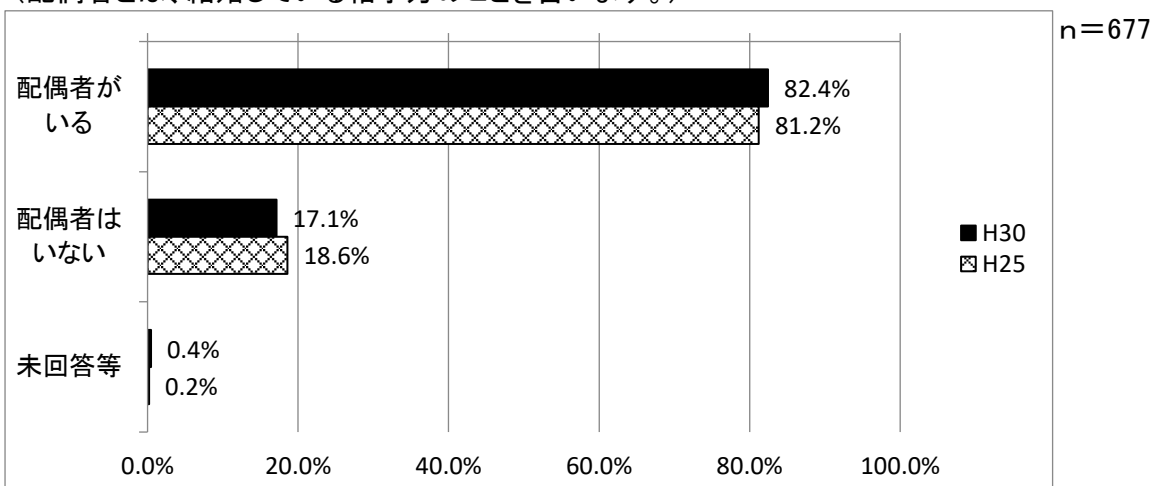
問 1 この調査にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。



「母親」が9割強

大多数が「母親」(90.3%)で、その比率は9割を超えています。

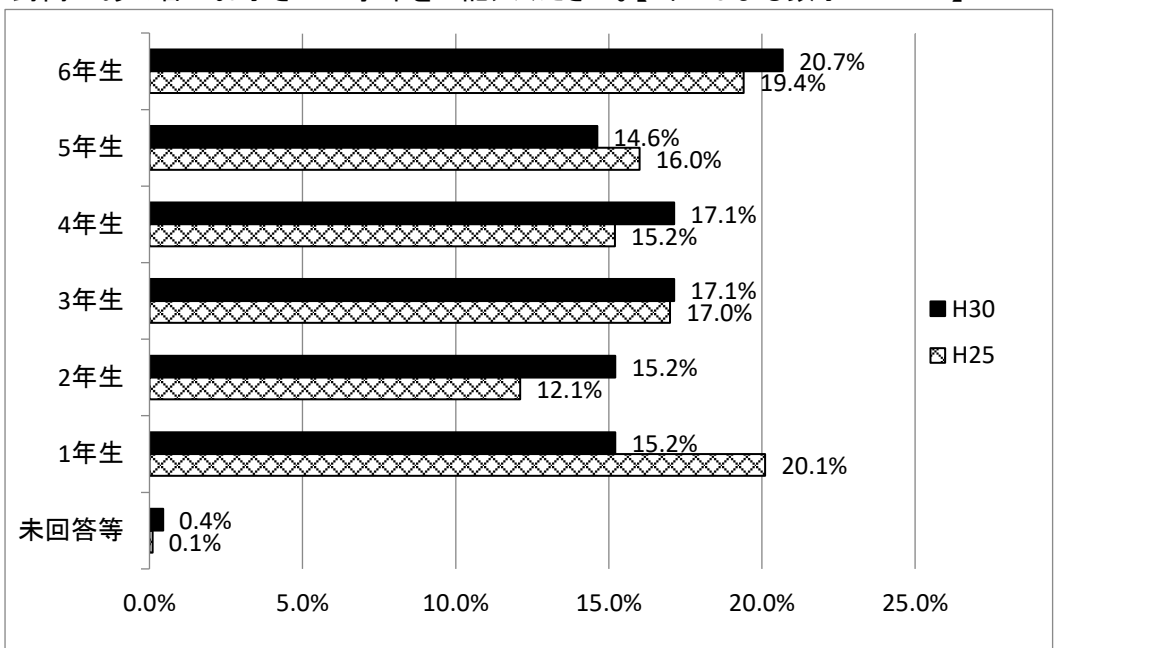
問 2 この調査にご回答いただく方の、配偶関係についてお答えください。【当てはまる番号1つに○】
(配偶者とは、結婚している相手方のことを言います。)



8割以上が「配偶者がいる」

「配偶者がいる」(82.4%)が最も多く、8割超を占めています。

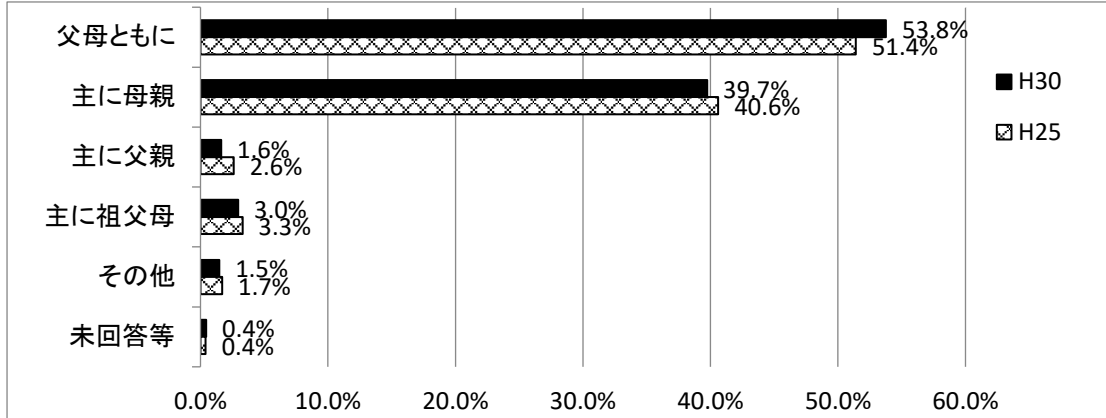
問 3 封筒のあて名のお子さんの学年をご記入ください。【当てはまる数字1つに○】



「6年生」が2割強

「6年生」(20.7%)が最も多い。次いで「4年生」、「3年生」(ともに17.1%)の順となっています。

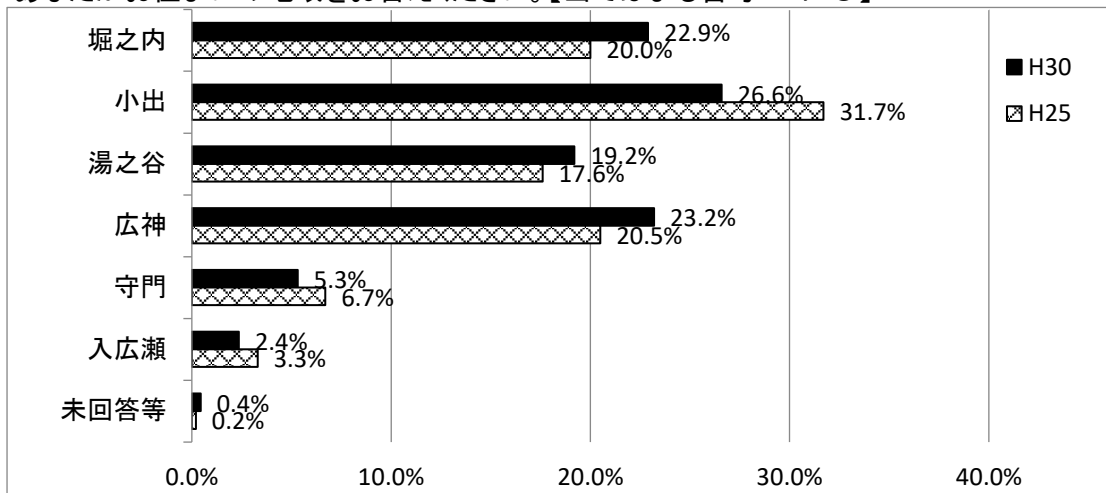
問 4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】 n=677



「父母ともに」が半数超

「父母ともに」(53.8%)が最も多く、「主に母親」(39.7%)が次いで多くなっています。

問 5 あなたがお住まいの地域をお答えください。【当てはまる番号1つに○】 n=677

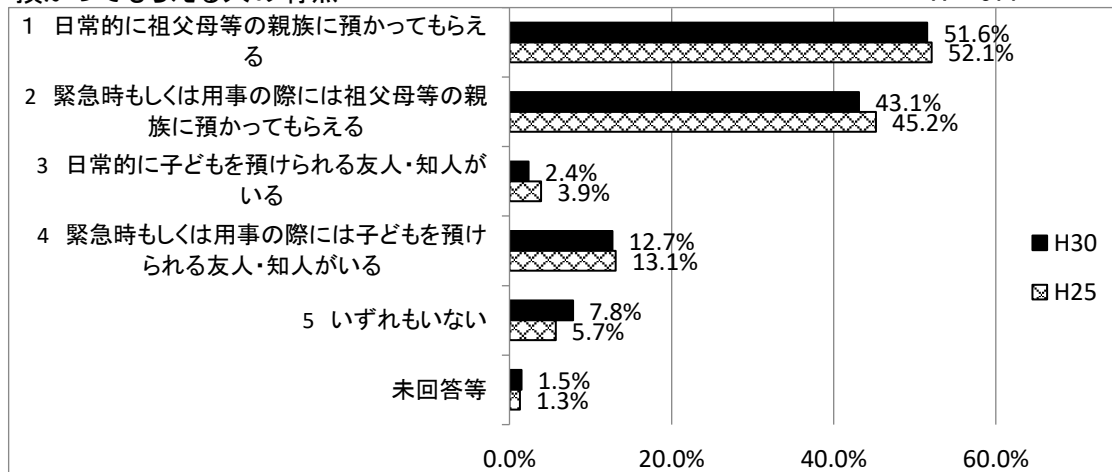


小出が3割弱

平成25年よりも5ポイント減少していますが、「小出」(26.6%)が最も多く、次いで「広神」(23.2%)が多くなっています。

問 6 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族や知人はいますか。預かってもらうことに関する状況と合わせてお答えください。

預かってもらえる人の有無

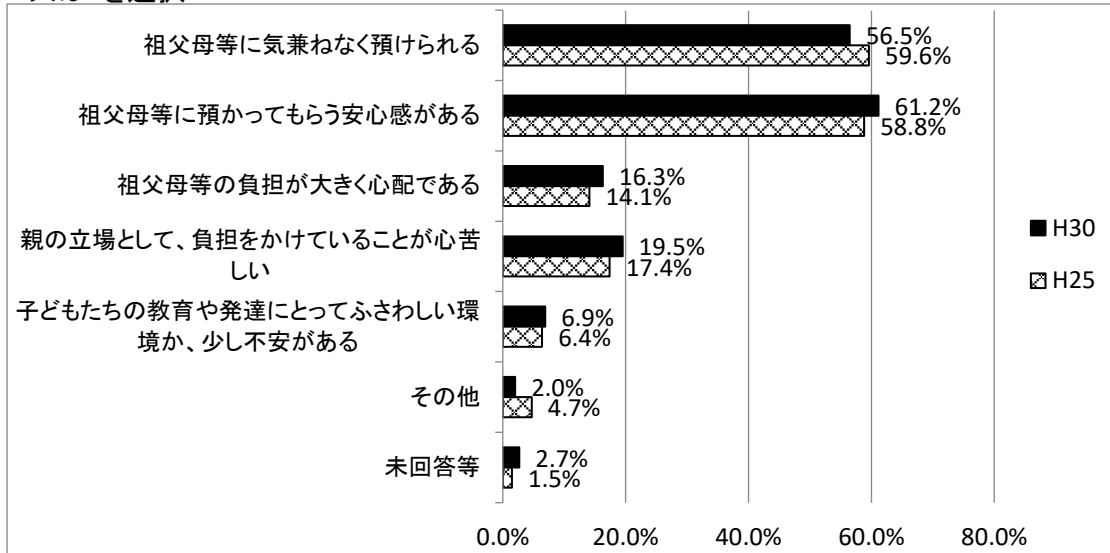


「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多い

「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(51.6%)が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(43.1%)が次いで多くなっています。

1又は2を選択

n=595

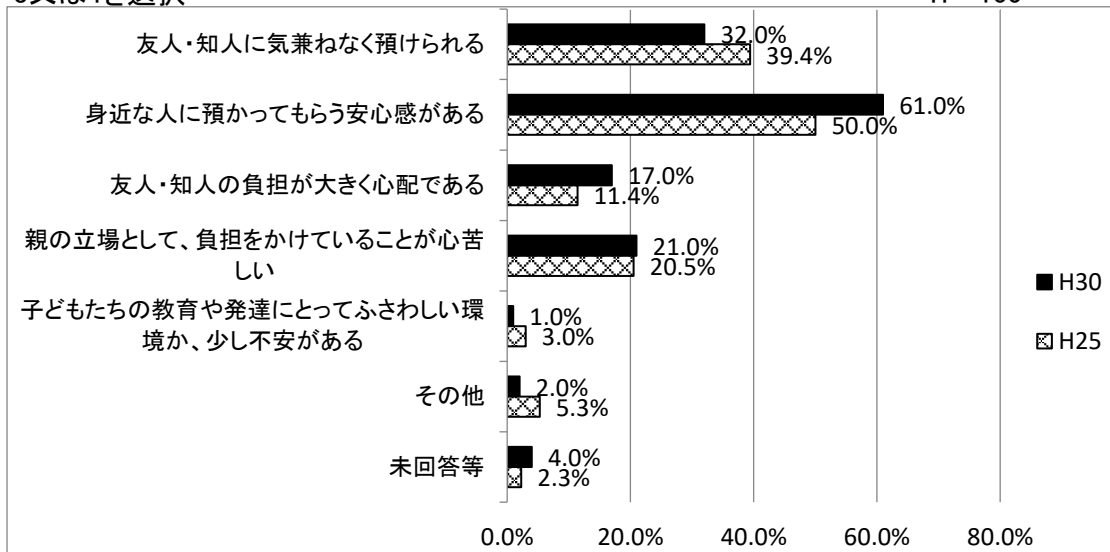


「祖父母等に預かってもらう安心感がある」が最も多い

日頃、祖父母等の親族に預かってもらえる方は、「祖父母等に預かってもらう安心感がある」(61.2%)が最も多く、次いで「祖父母等に気兼ねなく預けられる」(56.5%)と多くなっています。

3又は4を選択

n=100



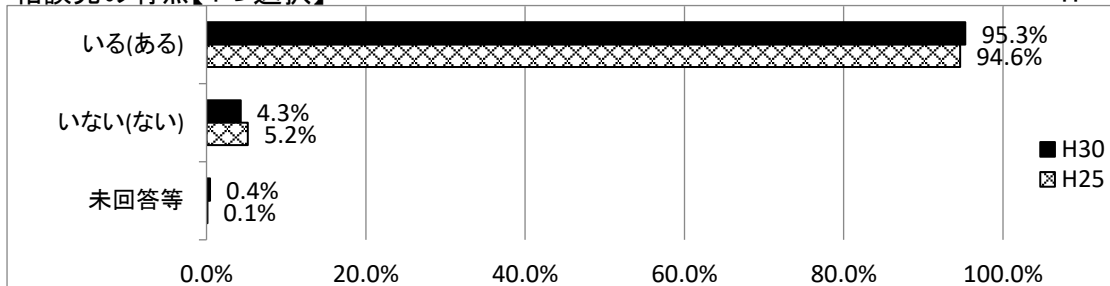
「身近な人に預かってもらう安心感がある」が最も多い

日頃、友人・知人に預かってもらえる方は、「身近な人に預かってもらう安心感がある」(61.0%)と最も多く、「友人・知人に気兼ねなく預けられる」(32.0%)と続いています。

問 7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に関する悩みや不安について、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

相談先の有無【1つ選択】

n=677

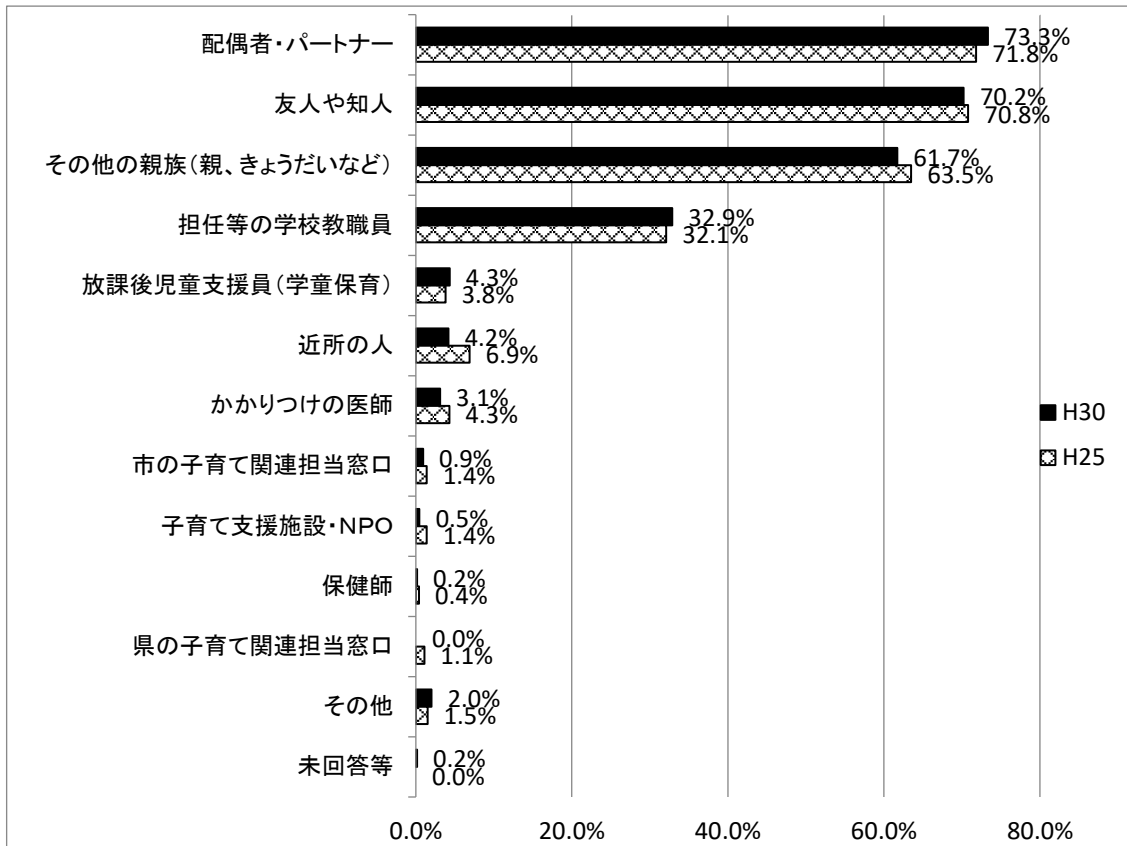


9割以上が「いる(ある)」と回答

子育てに関する悩みや不安について、気軽に相談できる人や場所が「いる(ある)」(95.3%)と回答する割合が9割を超えています。

相談相手(場所)【複数選択可】

n=645

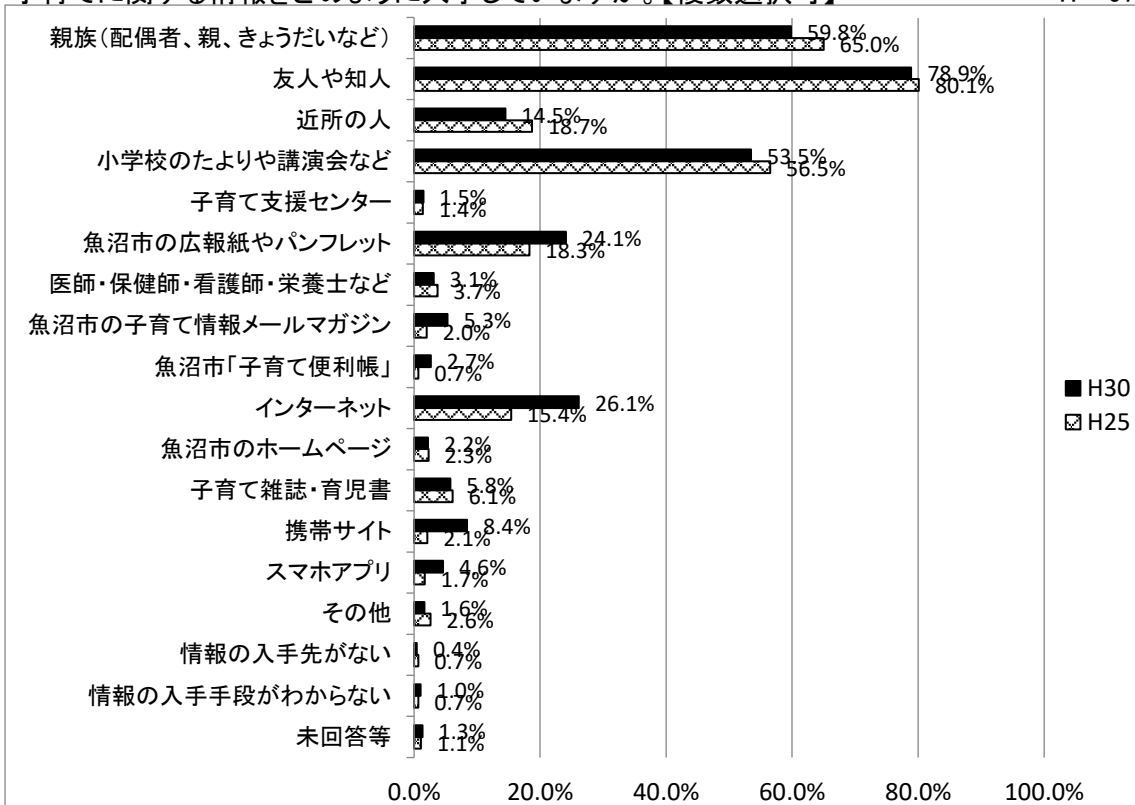


「配偶者・パートナー」が7割強で最も多い

「配偶者・パートナー」(73.3%)が最も多く、次いで「友人や知人」(70.2%)と多くなっています。

問 8 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【複数選択可】

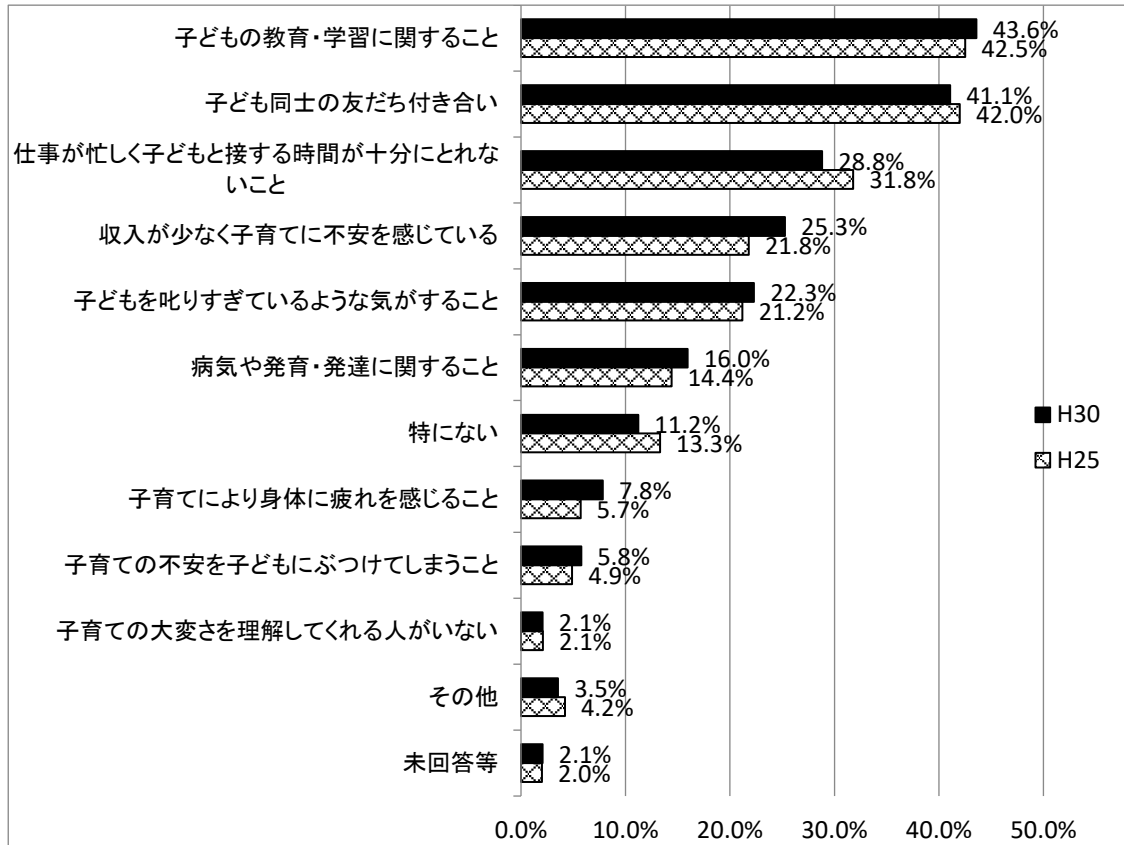
n=677



8割弱が「友人や知人」と回答

「友人や知人」(78.9%)が最も多く、「親族(配偶者、親、きょうだいなど)」(59.8%)、「小学校のたよりや講演会など」(53.5%)と続いています。

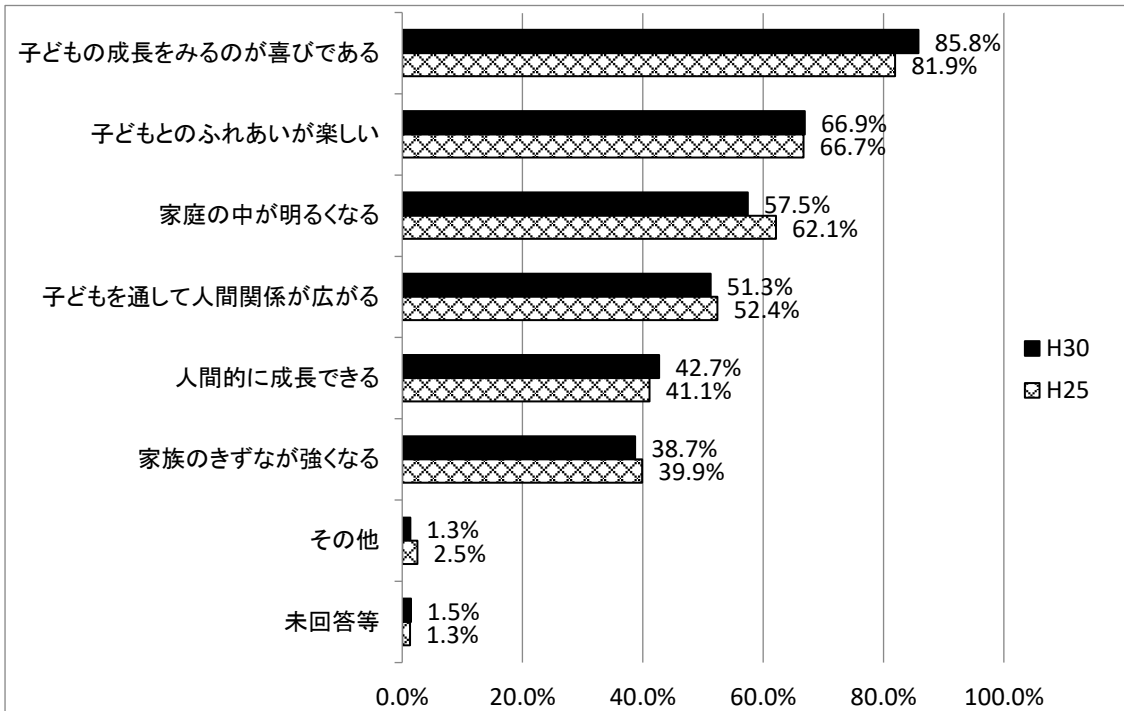
問 9 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはありますか。【複数選択可】
n=677



「子どもの教育・学習に関すること」が最も多い

「子どもの教育・学習に関すること」(43.6%)が最も多く、「子ども同士の友だち付き合い」(41.1%)と続いています。

問 10 あなたは、自分にとって子育てをしていてよかったことはどんな場合ですか。【複数選択可】
n=677



「子どもの成長をみるのが喜びである」が8割強

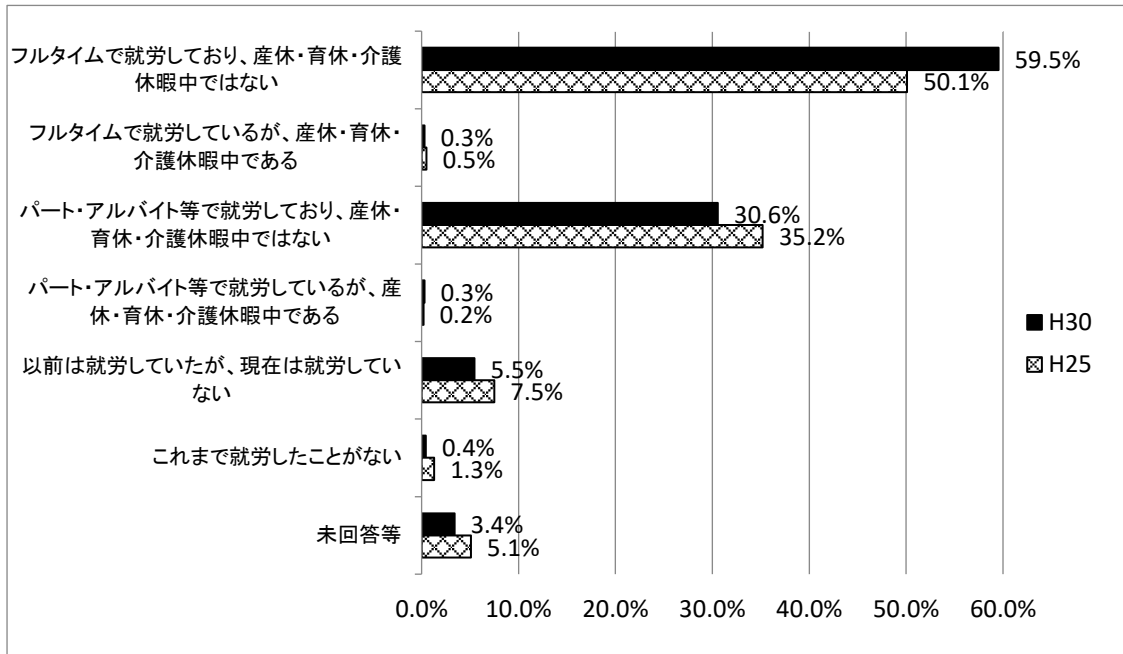
「子どもの成長をみるのが喜びである」(85.8%)が最も多く、「子どもとのふれあいが楽しい」(66.9%)、「家庭の中が明るくなる」(57.5%)と続いています。

問 11 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(父子家庭などで、母親がいない場合は回答不要です。)

① 就労状況と就労時間(母親)

n=677

母親の「就労状況」と「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休暇中の方は、休暇に入る前の状況でお答えください。
(ここでいうフルタイムは、いわゆる正社員等や準じた所定労働時間で働く労働者を指し、パート・アルバイト等は正社員等と比べて、所定労働時間の短い労働者を指します。)



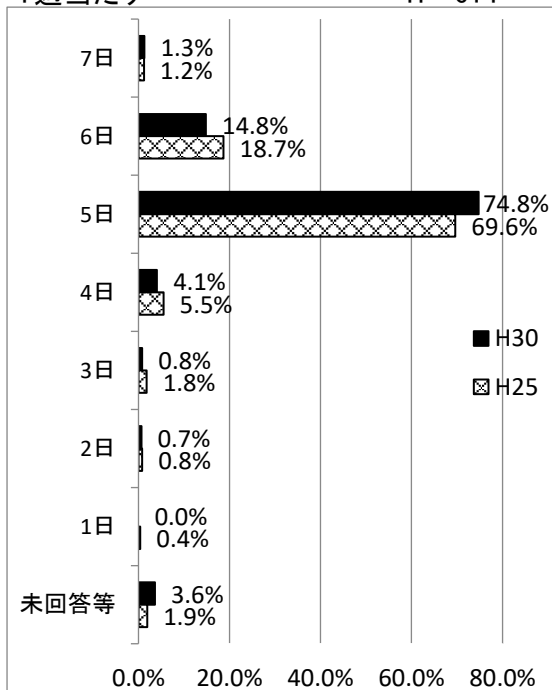
6割弱が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」(59.5%)が最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」(30.6%)が続いています。

就労時間【各1つ選択】

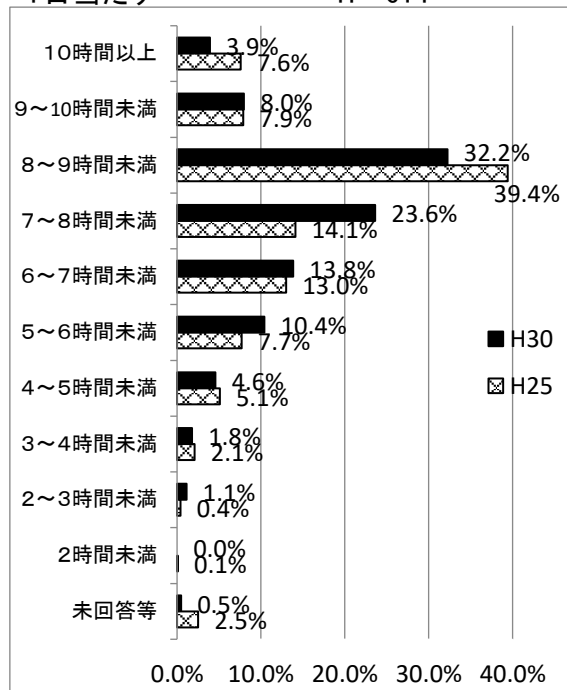
1週当たり

n=614



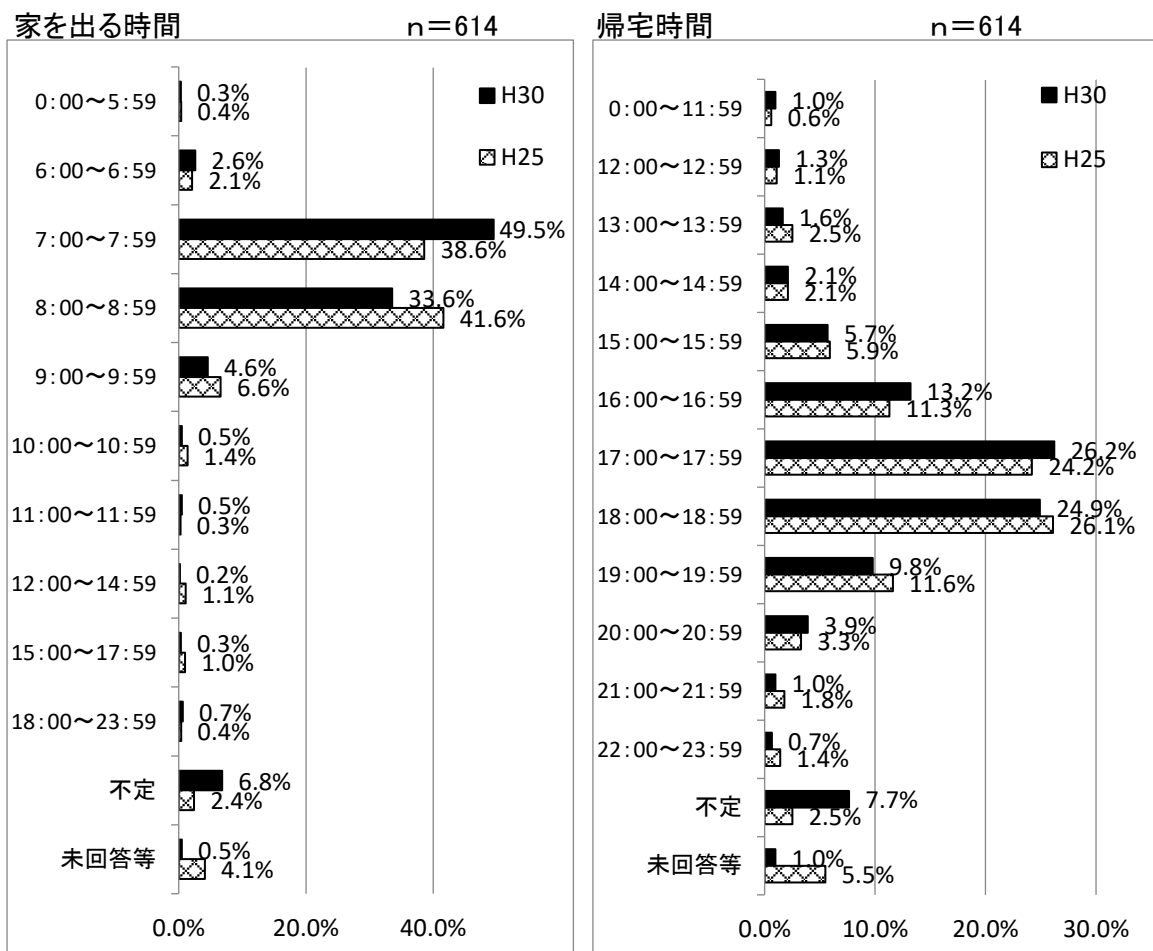
1日当たり

n=614



「5日」と「8～9時間未満」が最も多い

就労している母親の7割強が1週当たり「5日」(74.8%)、1日当たり「8～9時間未満」(32.2%)が最も多くなっています。



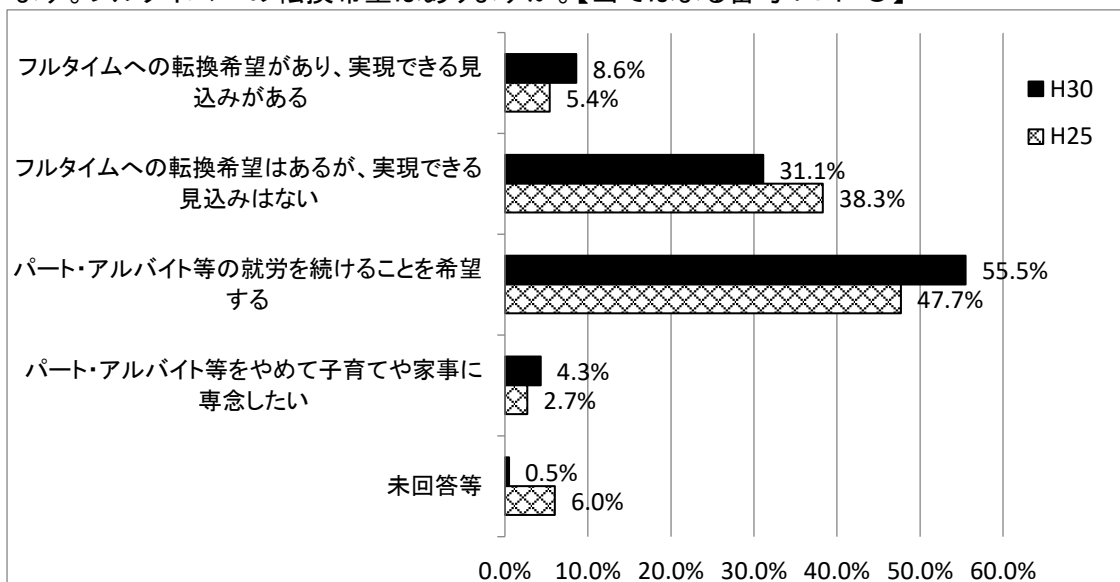
家を出る時間「7:00~7:59」、帰宅時間「17:00~17:59」が最も多い

就労している母親の家を出る時間は「7:00~7:59」、帰宅時間は「17:00~17:59」が最も多くなっています。平成25年の家を出る時間は、「8:00~8:59」「7:00~7:59」の順、帰宅時間がでしたが、「18:00~18:59」「17:00~17:59」の順でしたが、平成30年の調査は逆転しています。

② フルタイムへの転換希望(母親)

n=209

11-①の質問で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。【当てはまる番号1つに○】



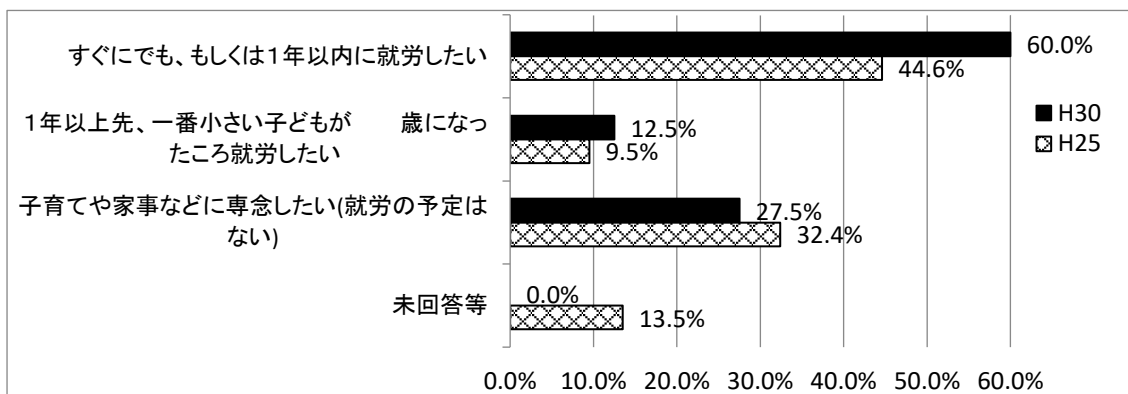
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が最も多い

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」(55.5%)が最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(31.1%)が続いています。

③ 就労希望(母親)

n=40

11-①の質問で「5.」または「6.」(現在就労していない)を選んだ方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。【当てはまる記号又は数字1つに○】

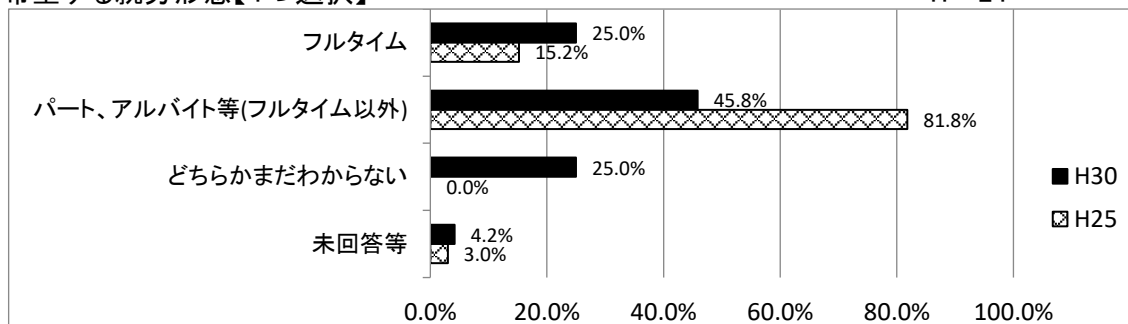


「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多い

現在就労していない母親の就労希望としては、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(60.0%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(27.5%)となっています。

希望する就労形態【1つ選択】

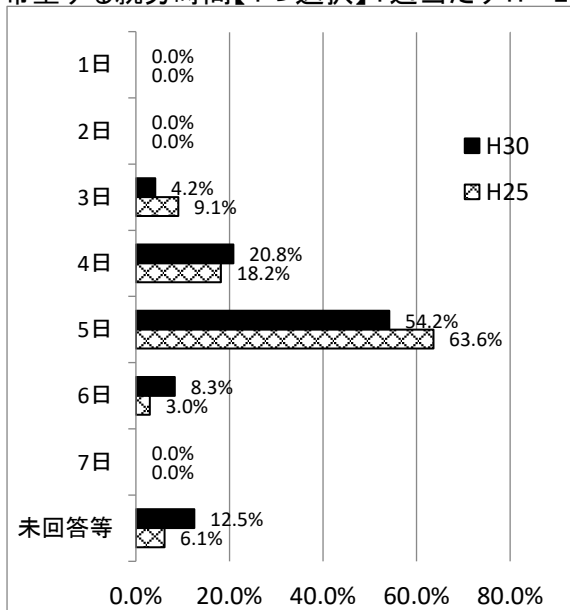
n=24



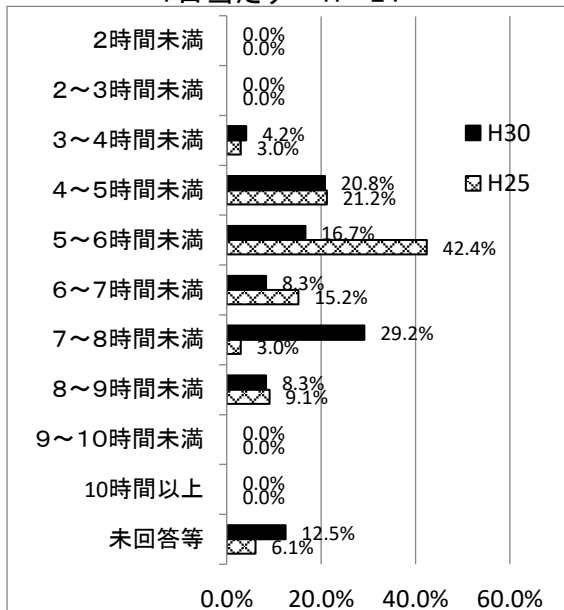
「パート、アルバイト等(フルタイム以外)」が最も多い

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい母親の希望就労形態は、「パート・アルバイト等フルタイム以外」(45.8%)が最も多くなっています。

希望する就労時間【1つ選択】1週当たり n=24



1日当たり n=24

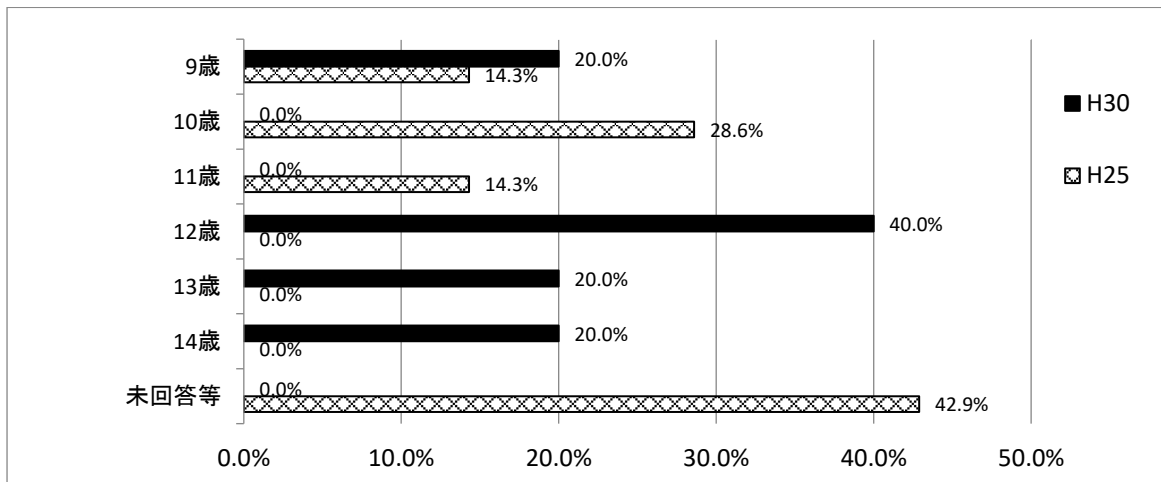


週当たりは「5日」、日当たりは「7~8時間未満」が最も多い

希望する就労時間は、週当たりが「5日」(54.2%)、日当たりが「7~8時間未満」が最も多くなっています。

(就労したい子どもの年齢)

n=5



「12歳」が最も多い

1年以上先に就労を希望する母親の一番小さい子どもの年齢は、「12歳」(40.0%)が最も多くなっています。

問 12 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(母子家庭などで、父親がいない場合は回答不要です。)

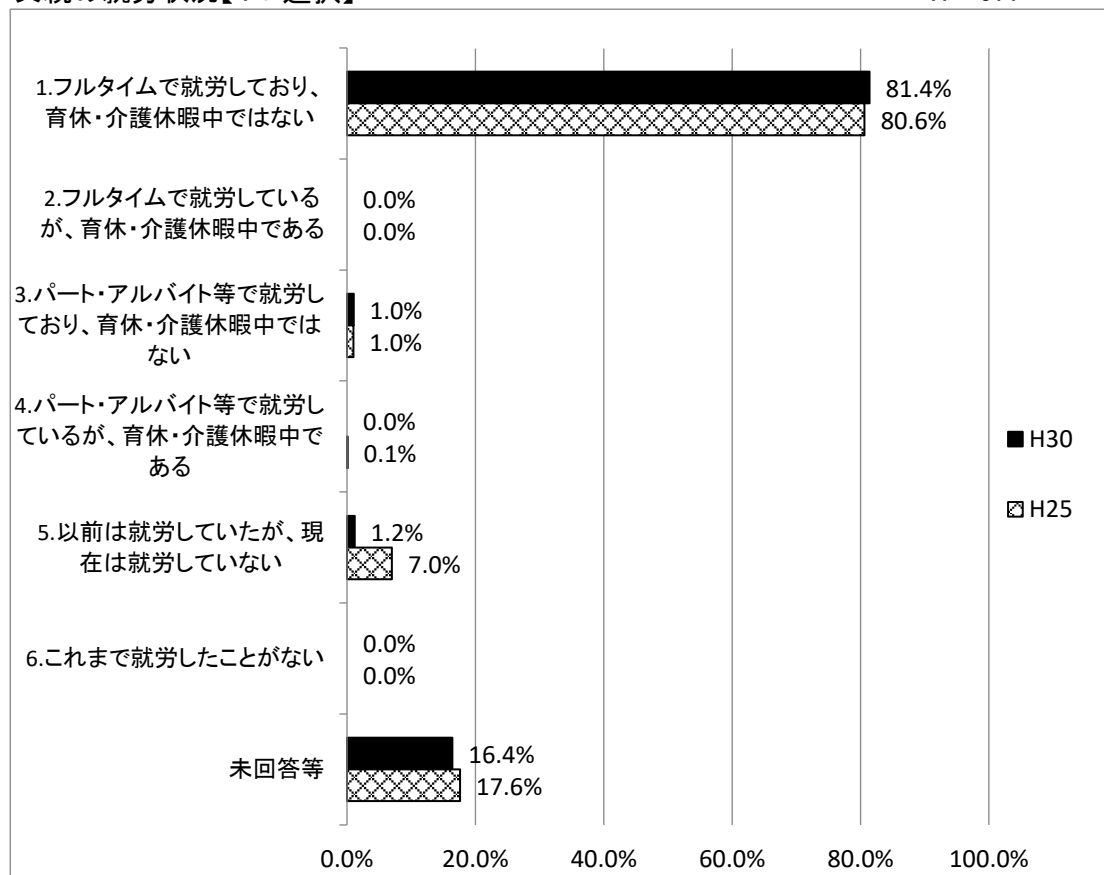
① 就労状況と就労時間(父親)

父親の「就労状況」と「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、育休・介護休暇中の方は、休暇に入る前の状況でお答えください。

(ここでいうフルタイムは、いわゆる正社員等や準じた所定労働時間で働く労働者を指し、パート・アルバイト等は正社員等と比べて、所定労働時間の短い労働者を指します。)

父親の就労状況【1つ選択】

n=677

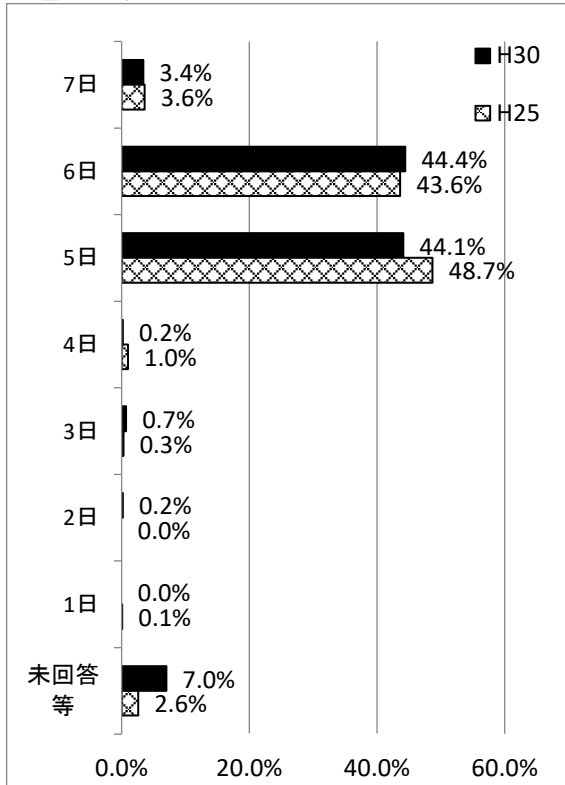


8割強が「フルタイムで就労しており、育休・介護休暇中ではない」

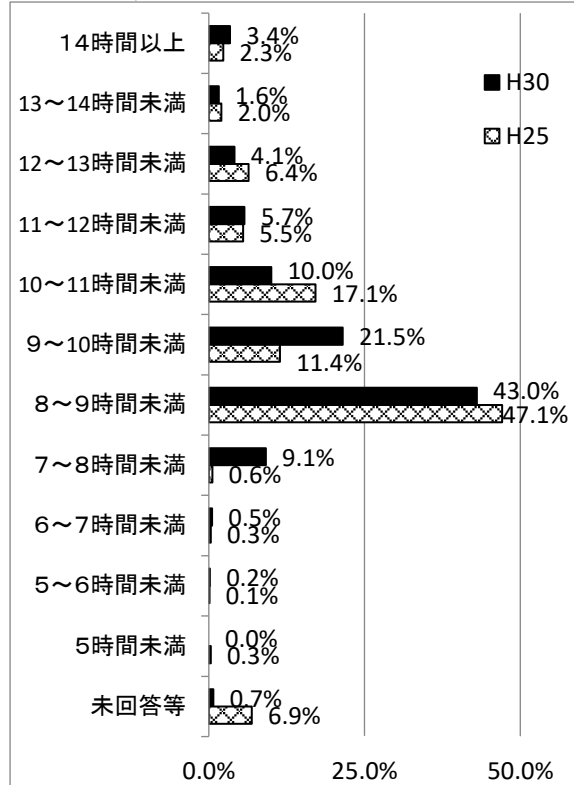
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休暇中ではない」(81.4%)と8割を超えて多くなっています。

就労時間【各1つ選択】

1週当たり n=558



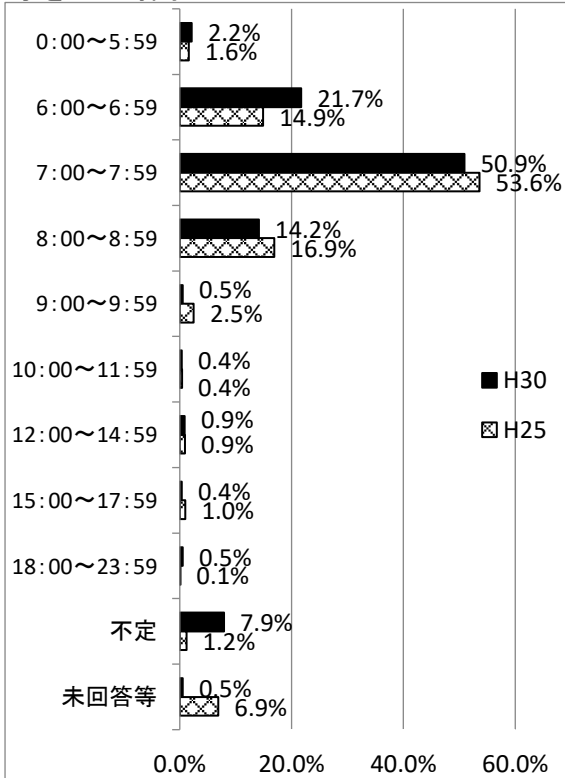
1日当たり n=558



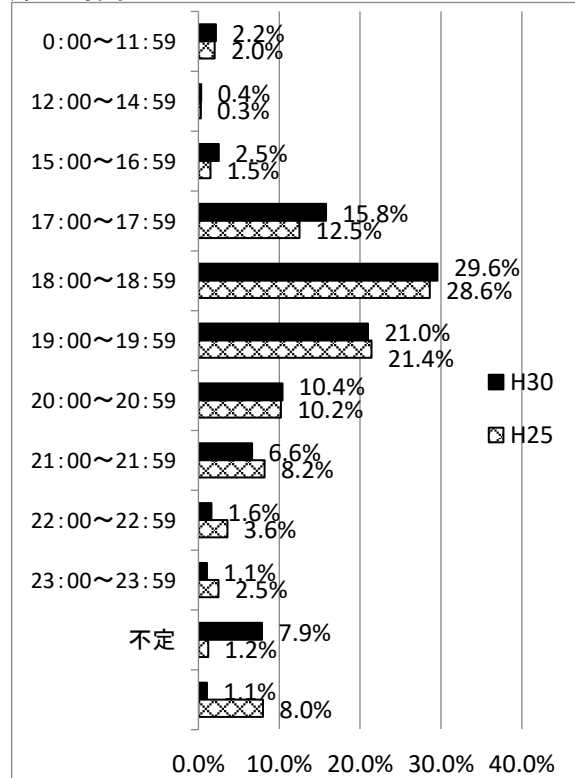
就労時間は週あたり「6日」、日あたり「8～9時間」が最も多い

就労している父親の週あたりの就労日数は「6日」(44.4%)と最も多くなり、平成25年の調査で最も多かった「5日」が次いで多くなっています。日当たりの就労時間は「8～9時間未満」(43.0%)が最も多くなっています。

家を出る時間 n=558



帰宅時間 n=558



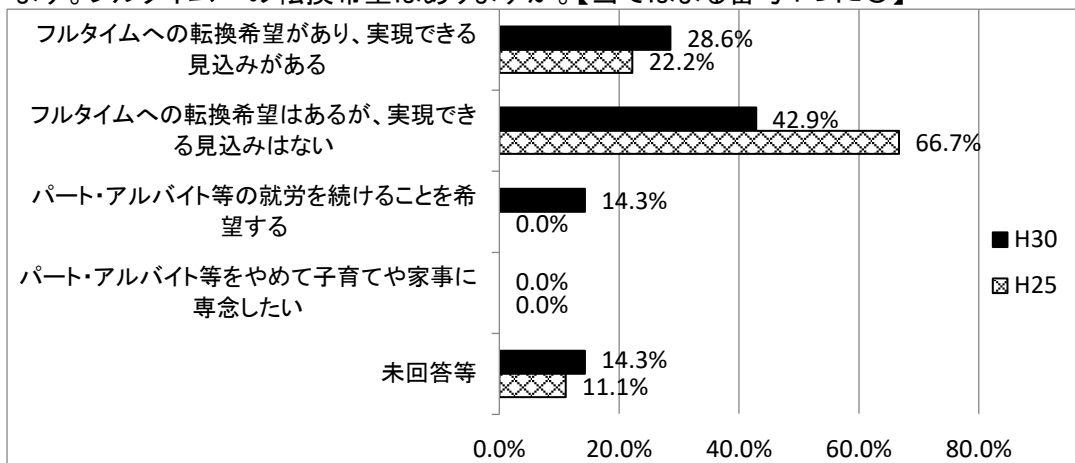
家を出る時間は「7:00～7:59」、帰宅時間は「18:00～18:59」が最も多い

就労している父親の家を出る時間は、「7:00～7:59」(50.9%)と最も多く、帰宅時間は「18:00～18:59」(29.6%)が最も多くなっています。

② フルタイムへの転換希望(父親)

12-①の質問で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。【当てはまる番号1つに○】

n=7



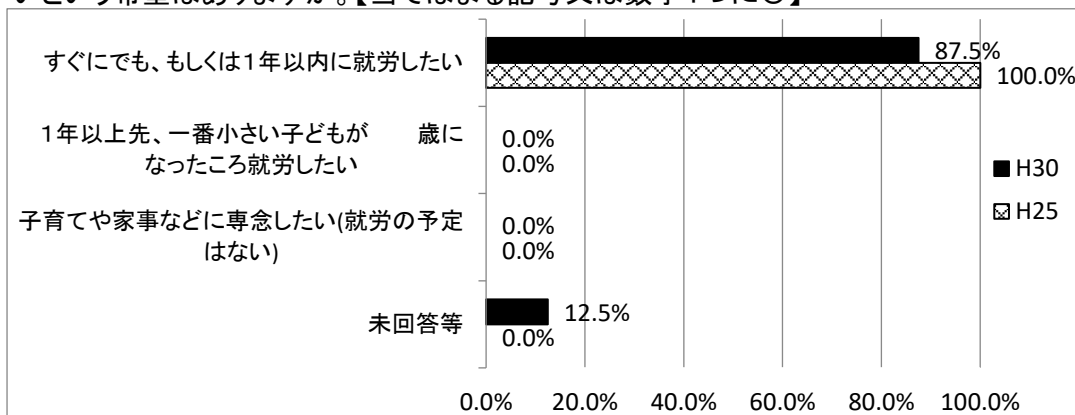
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が最も多い

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(42.9%)と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(28.6%)となっています。

③ 就労希望(父親)

12-①の質問で「5.」または「6.」(現在就労していない)を選んだ方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。【当てはまる記号又は数字1つに○】

n=8

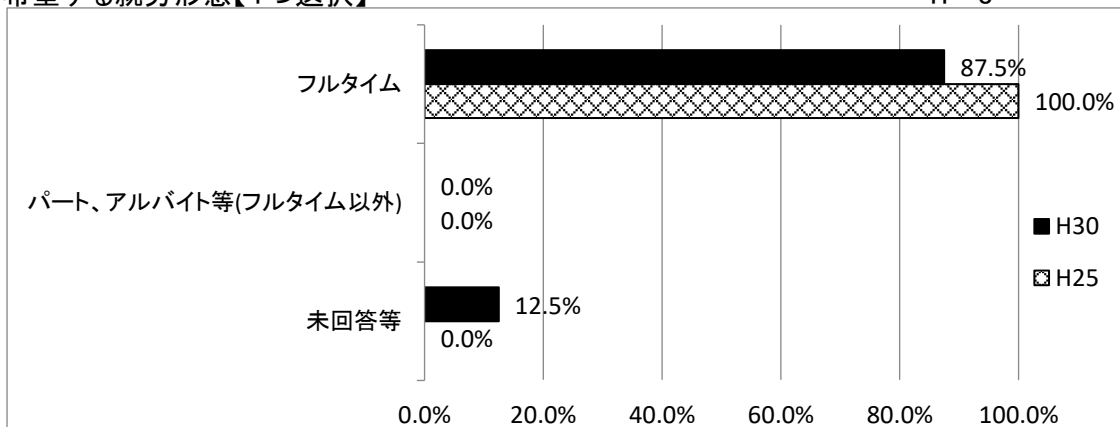


9割弱が「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答

現在就労していない父親の就労希望は9割弱が「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(87.5%)と回答しています。

希望する就労形態【1つ選択】

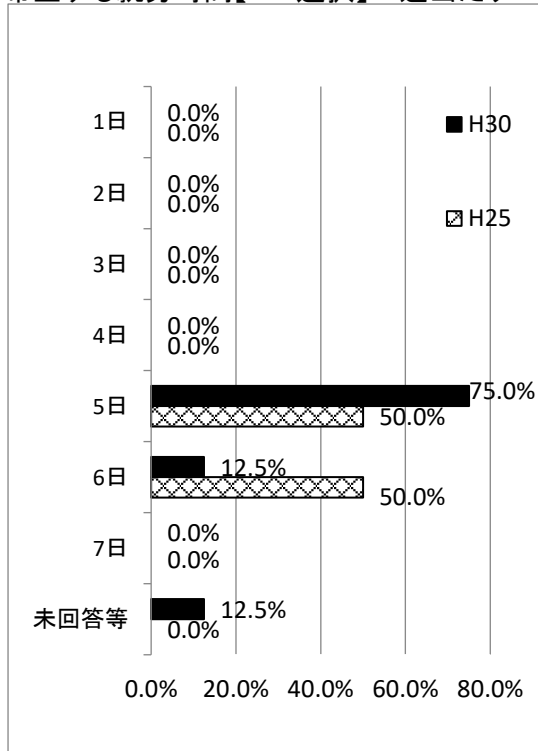
n=8



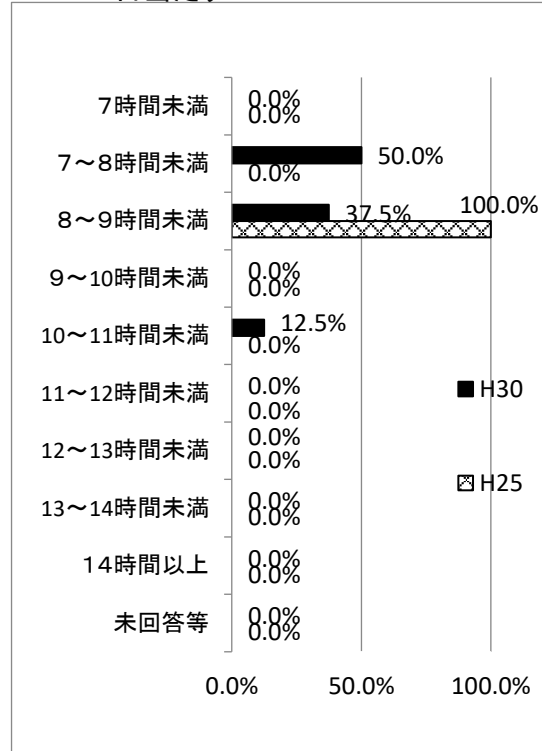
9割弱が「フルタイム」と回答

現在就労していない父親の希望する就労形態は9割弱が「フルタイム」(87.5%)と回答しています。

希望する就労時間【1つ選択】1週当たり n=8



1日当たり n=8



週当たりは「5日」、日当たりは「7～8時間未満」が最も多い

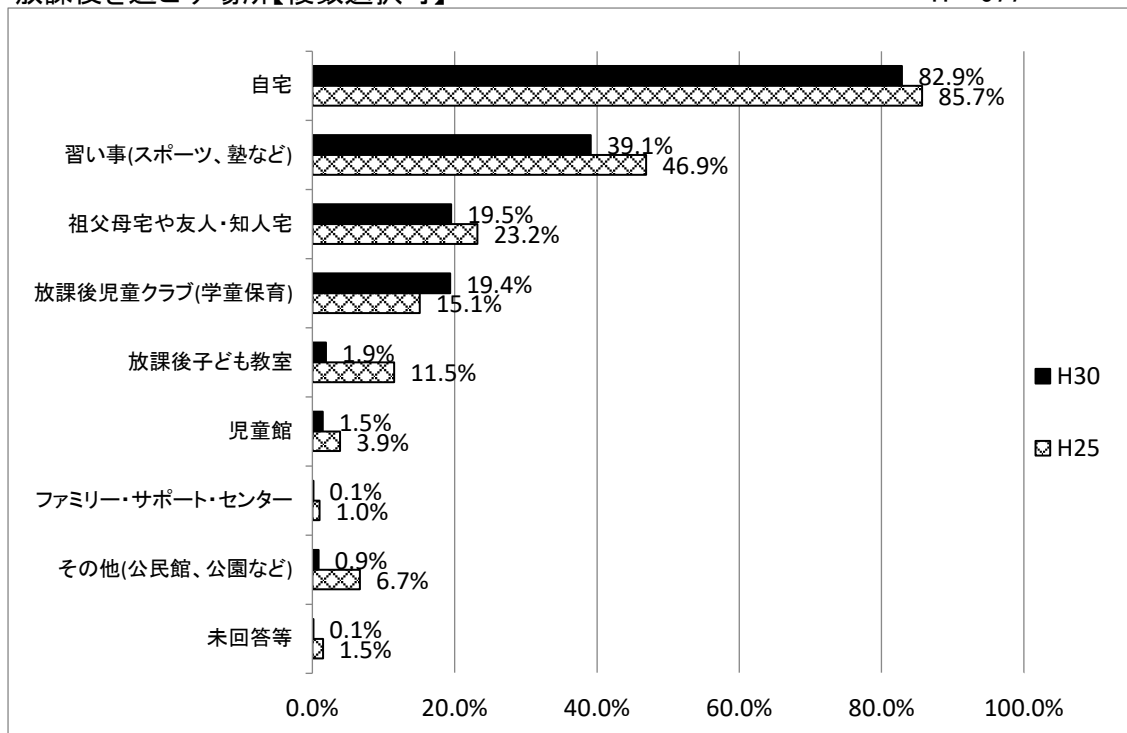
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい父親の希望就労時間は週当たりで「5日」(75.0%)、日当たりで「7～8時間未満」(50.0%)が最も多くなっています。

問 13 あて名のお子さんの、放課後の過ごし方についてお伺いします。

お子さんは、放課後(平日の授業、クラブ活動など終了後)の時間をどのような場所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたい、または過ごさせたかったですか。現状と希望について、1週当たりの日数をお答えください

放課後を過ごす場所【複数選択可】

n=677



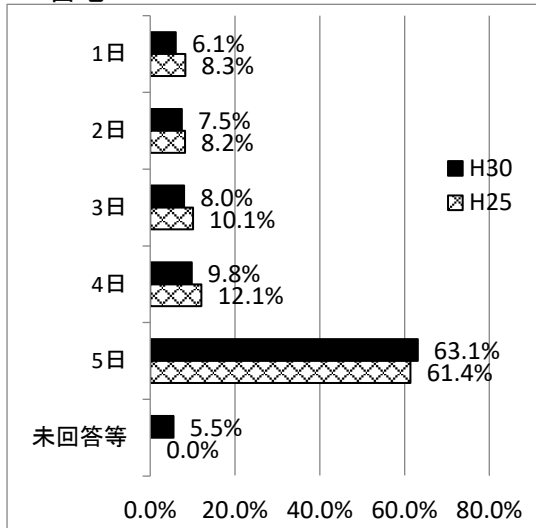
「自宅」が8割強

「自宅」(82.9%)と最も多く、次いで「習い事(スポーツ、塾など)」(39.1%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(19.5%)と続きます。

1週当たりの日数【数字1つに○】

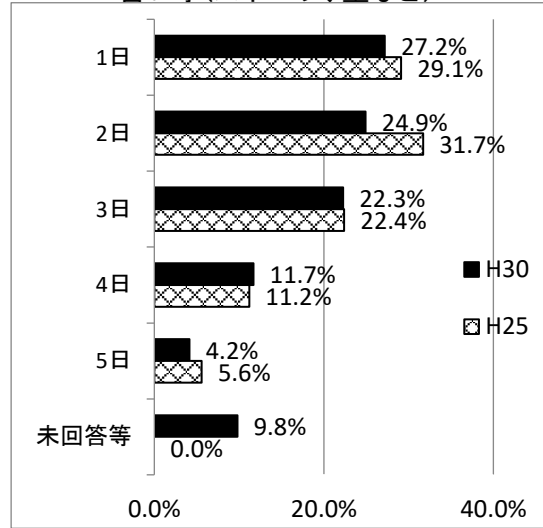
現状

1 自宅 n=561



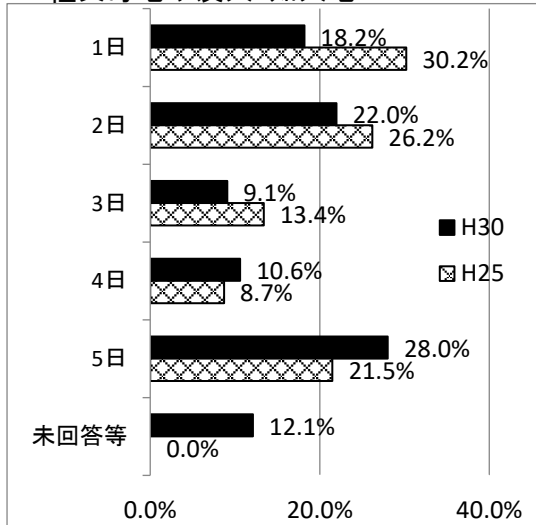
自宅は「5日」(63.1%)が最も多い

2 習い事(スポーツ、塾など) n=265



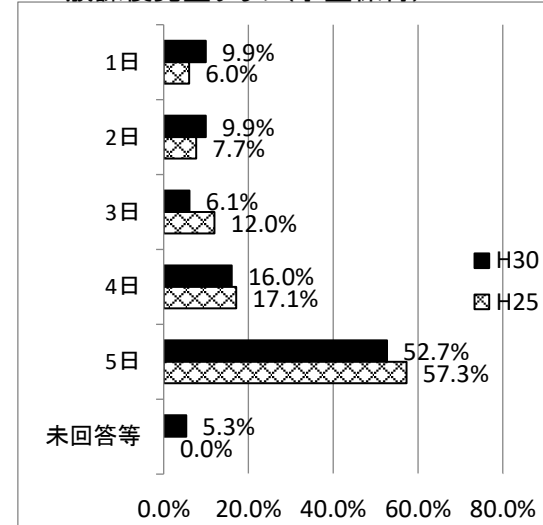
習い事は週「1日」(27.2%)が最も多い

3 祖父母宅や友人・知人宅 n=132



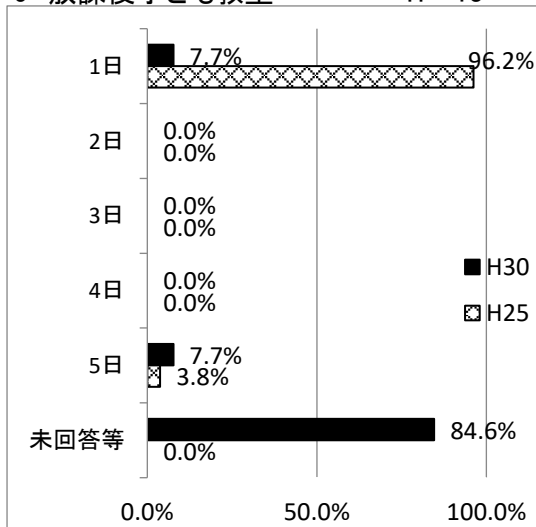
祖父母宅や友人・知人宅も「5日」が最も多い

4 放課後児童クラブ(学童保育) n=131



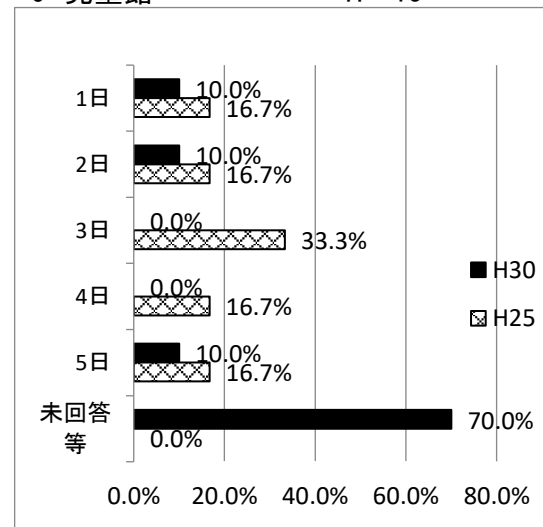
放課後児童クラブも「5日」が最も多い

5 放課後子ども教室 n=13



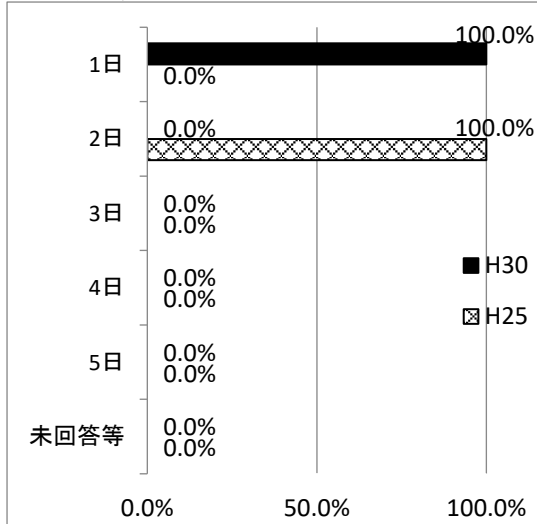
「1日」「7日」の回答が7.7%ずつ

6 児童館 n=10



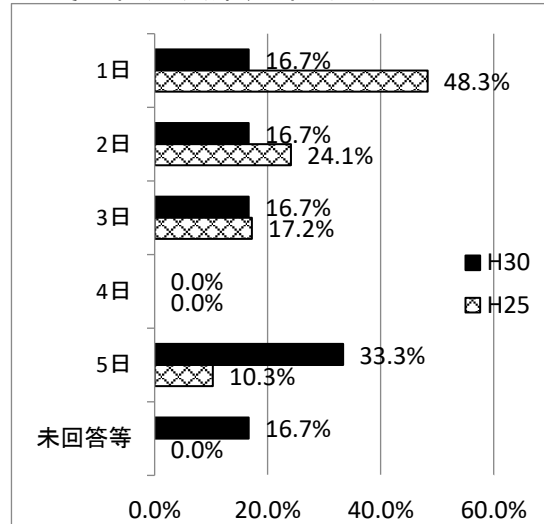
「1日」「2日」「5日」の回答が10.0%

7 ファミリー・サポート・センター n=1



「1日」と回答有

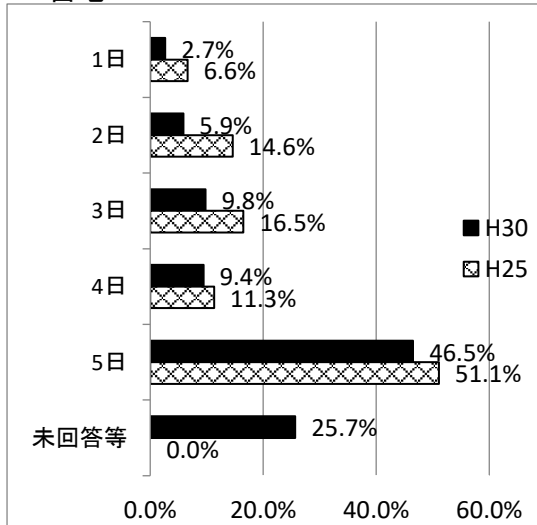
8 その他(公民館、公園など) n=6



「5日」(33.3%)が最も多い

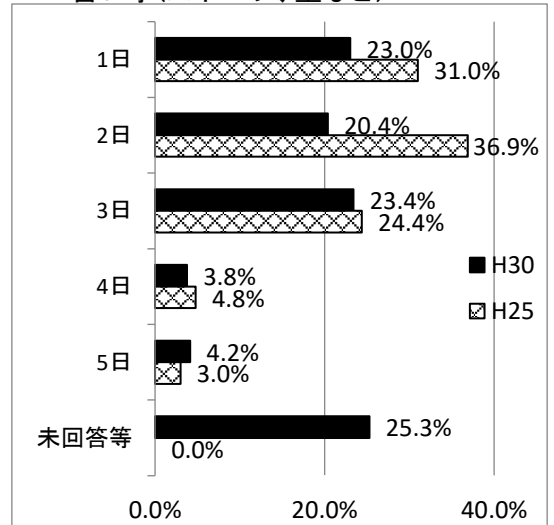
希望

1 自宅 n=561



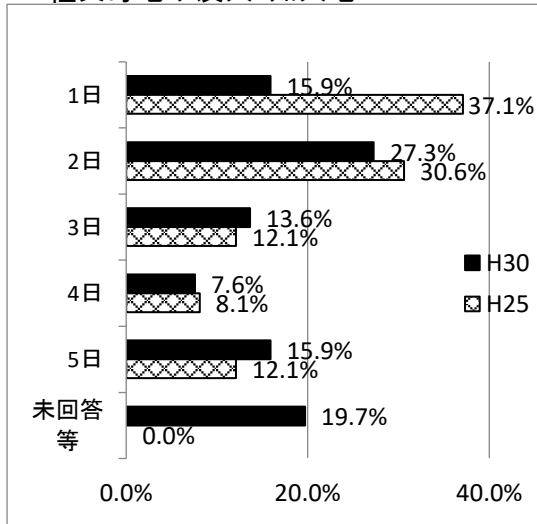
「5日」(46.5%)の希望が最も多い

3 習い事(スポーツ、塾など) n=265



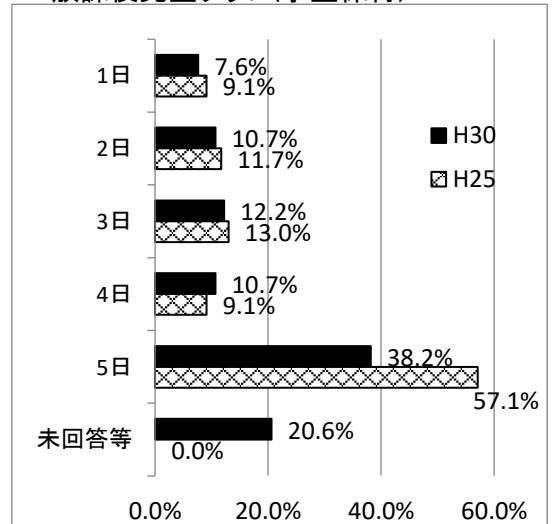
習い事は週「3日」(23.4%)の希望

2 祖父母宅や友人・知人宅 n=132

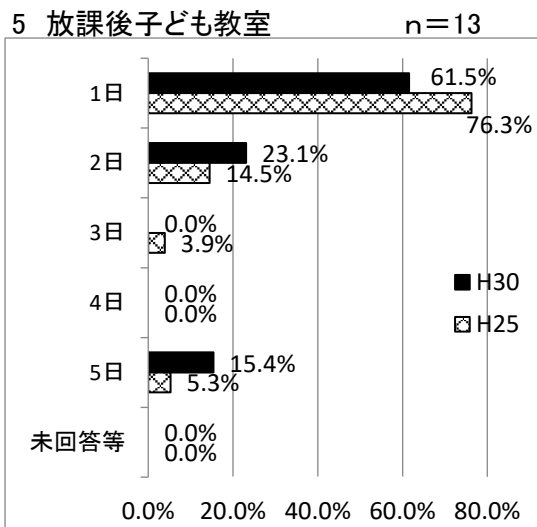


祖父母宅や友人・知人宅は「2日」(27.3%)

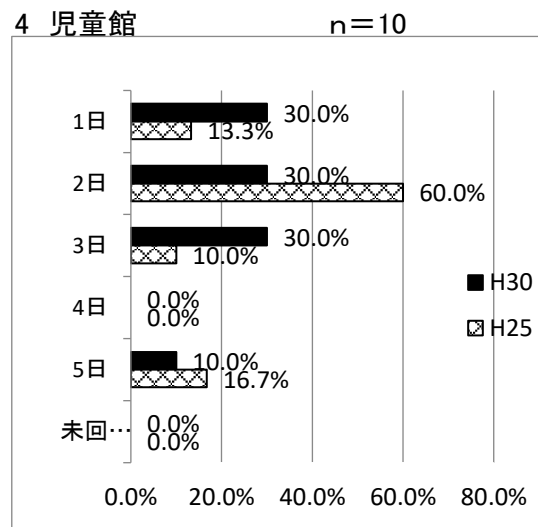
6 放課後児童クラブ(学童保育) n=131



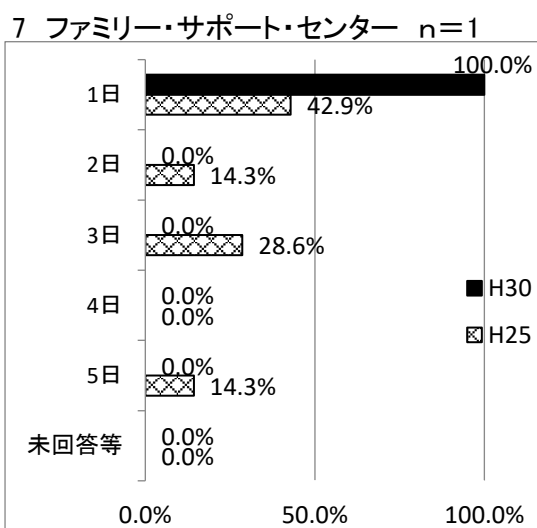
放課後児童クラブは週「5日」(38.2%)



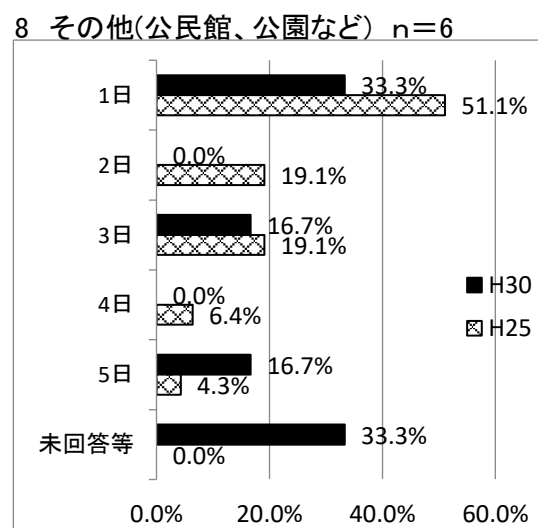
「1日」(61.5%)が最も多い



「1日」「2日」「3日」が3割



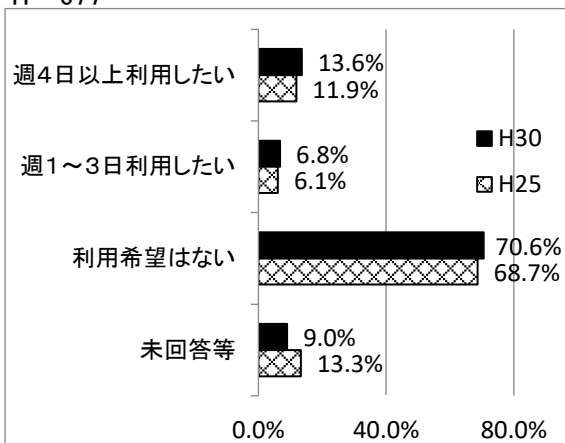
「1日」と回答有



「1日」(33.3%)が最も多い

問 14 平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における学童保育の利用希望と利用したい時間帯をお答えください。学童保育は両親が共働きであり、祖父母が就労しているなど、家庭において子どもを保育することが困難な場合に利用でき、一定の利用料が発生します。

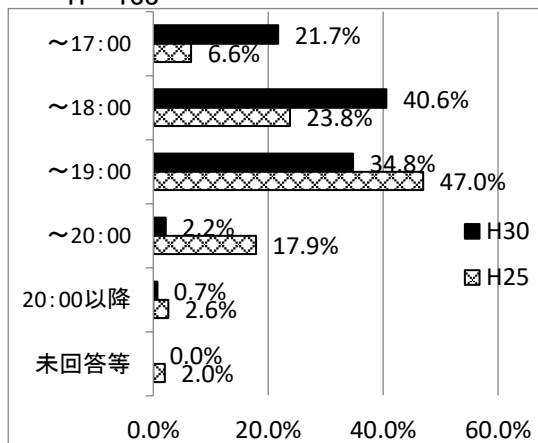
平日 利用希望の有無【1つ選択】
n=677



2割強が「利用したい」と回答

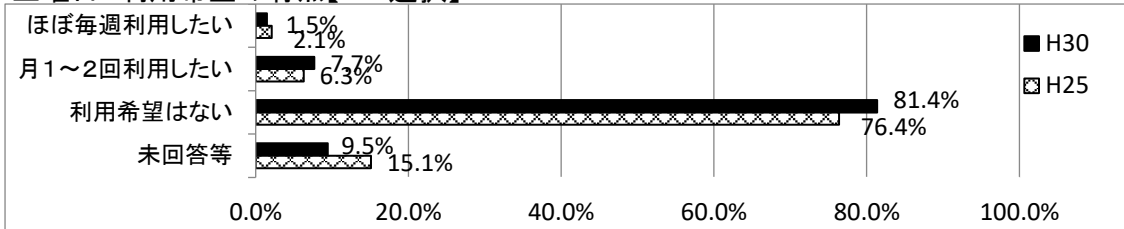
平日の利用希望としては、「週4日以上利用したい」(13.6%)、「週1~3日利用したい」(6.8%)を合わせて2割強となっており、利用希望時間は「~18:00」(40.6%)が最も多くなっています。

利用希望時間帯【各1つ選択】 下校時~終了時刻
n=138



土曜日 利用希望の有無【1つ選択】

n=677

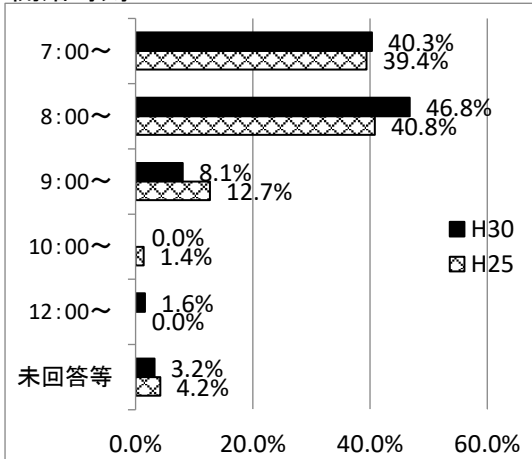


「利用したい」は1割弱

土曜日の利用希望としては、「月1~2回利用したい」(7.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.5%)を合わせも1割に満たず、8割以上が「利用希望はない」(81.4%)と回答しています。

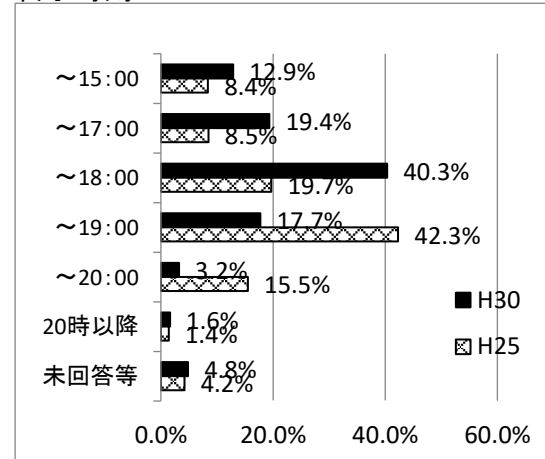
開始時刻

n=62



終了時刻

n=62

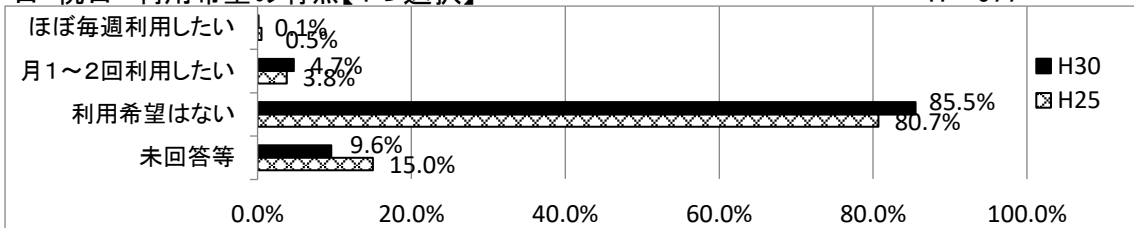


利用希望の開始は「8:00~」、終了は「~18:00」が最も多い

土曜日の利用希望時刻は、開始が「8:00~」(46.8%)と最も多く、終了が「~18:00」(40.3%)が最も多くなっています。

日・祝日 利用希望の有無【1つ選択】

n=677

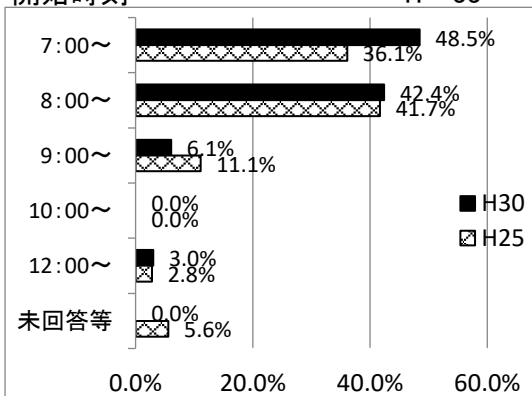


「利用したい」は1割弱

日曜・祝日の利用希望としては、「月1~2回利用したい」(4.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.1%)を合わせも1割に満たず、8割以上が「利用希望はない」(85.5%)と回答しています。

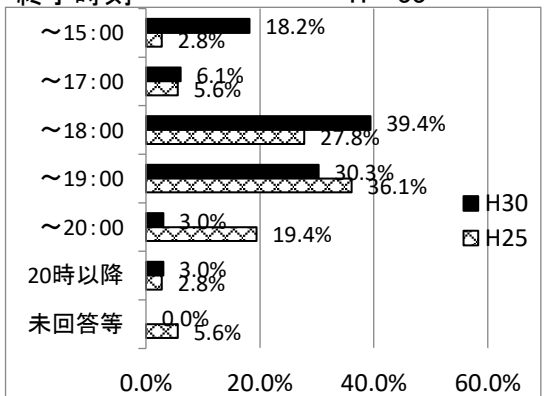
開始時刻

n=33



終了時刻

n=33

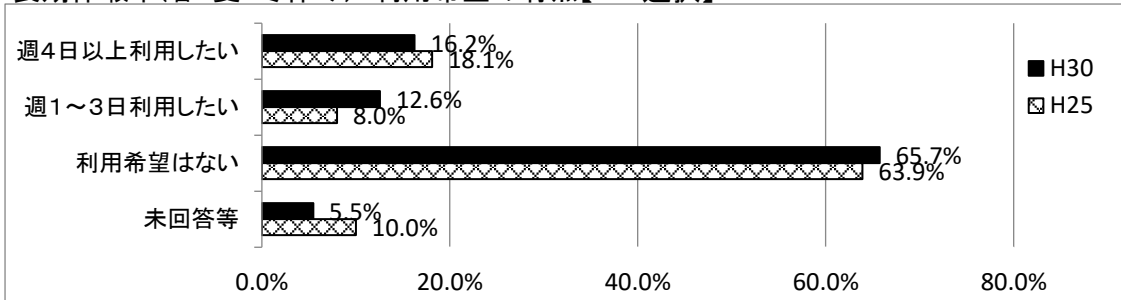


利用希望の開始は「7:00~」、終了は「~18:00」が最も多い

日曜日の利用希望時刻は、開始が「7:00~」(48.5%)と最も多く、終了が「~18:00」(39.4%)が最も多くなっています。

長期休暇中(春・夏・冬休み) 利用希望の有無【1つ選択】

n=677

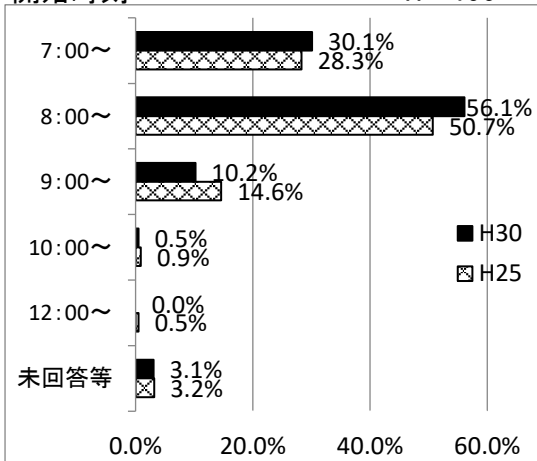


3割弱が「利用したい」

長期休暇中の利用希望としては、「週1～3回利用したい」(12.6%)、「週4日以上利用したい」(16.2%)を合わせて3割弱となっています。6割以上が「利用希望はない」(65.7%)と回答しています。

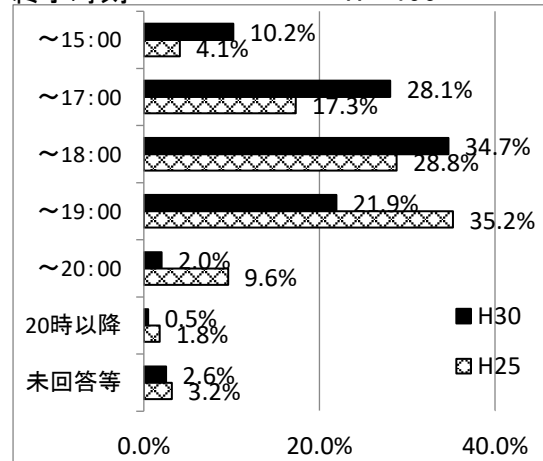
開始時刻

n=196



終了時刻

n=196

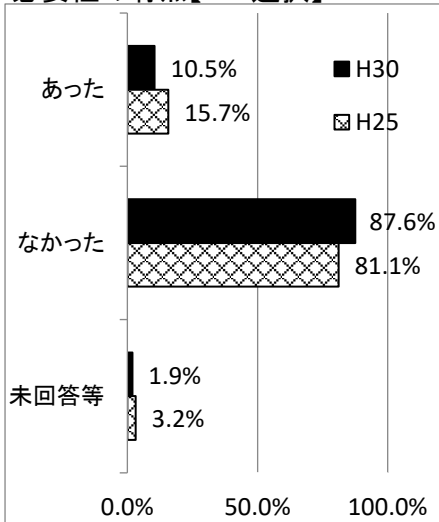


利用希望の開始は「8:00～」、終了は「～18:00」が最も多い

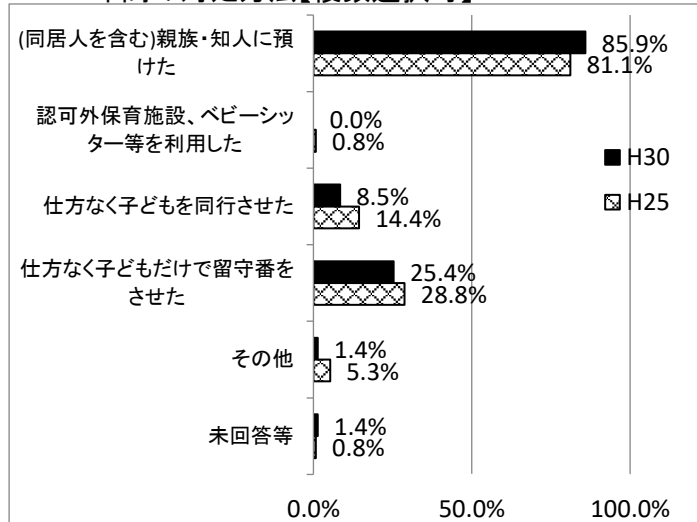
長期休暇中の利用希望時刻は、開始が「8:00～」(56.1%)と最も多く、終了が「～18:00」(34.7%)が最も多くなっています。

問 15 この1年間(平成29年12月～平成30年11月の間)に、保護者の用事(冠婚葬祭、家族の病気など)により、あて名のお子さんを日帰りまたは泊りがけで、家族以外に預けなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。
必要があった場合は、その際の対処方法を選択し、それぞれの日数をお答えください。

必要性の有無【1つ選択】 n=677



1年間の対処方法【複数選択可】 n=71



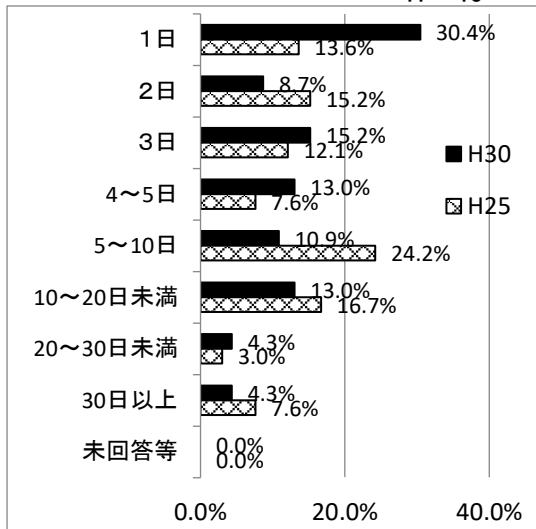
1割が「あった」と回答し、対処方法は「親族・知人に預けた」が最も多い

家族以外に預ける必要性について約1割が「あった」(10.5%)と最も多く、対処方法は「(同居人を含む)親族・知人に預けた」(85.9%)が最も多くなっています。

年間日数【1つ選択】

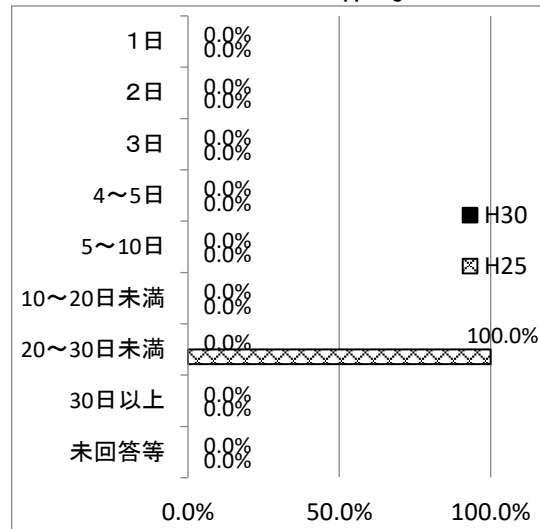
日帰り

ア (同居人を含む)親族・知人に預けた
n=46



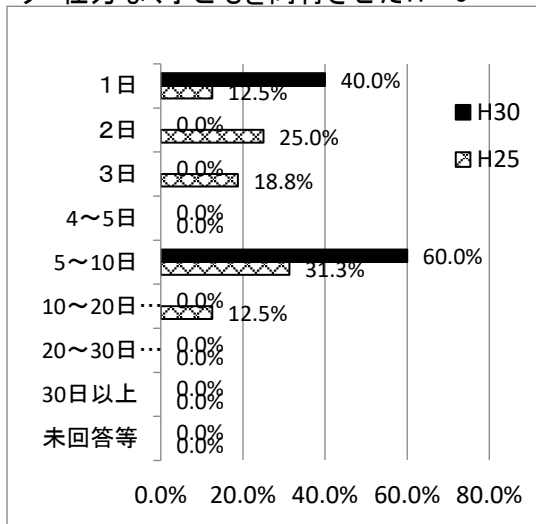
親族・知人に預けたは1日が最も多い

イ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した
n=0



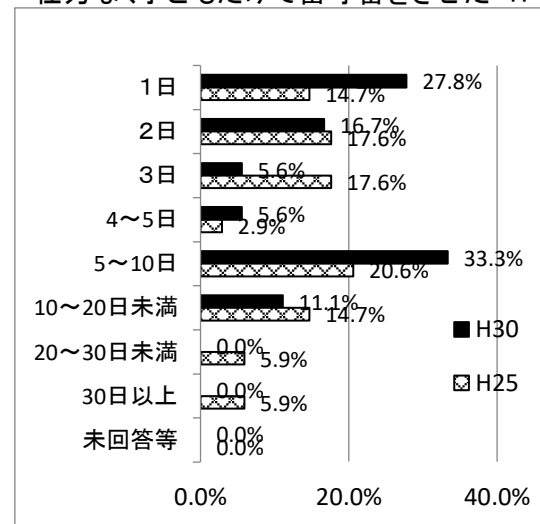
利用者は無し

ウ 仕方なく子どもを同行させたn=5



「5~10日」、「1日」の順で回答有

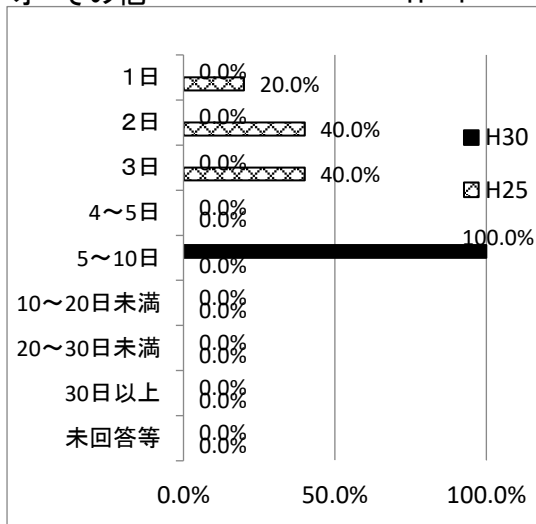
エ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=18



「5~10日」、「1日」の順で各約3割

オ その他

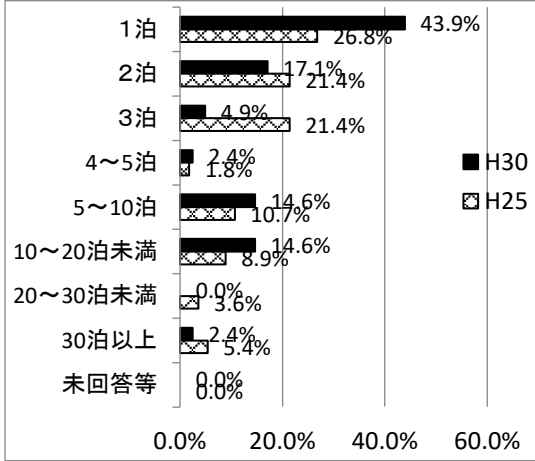
n=1



「5~10日」で回答有

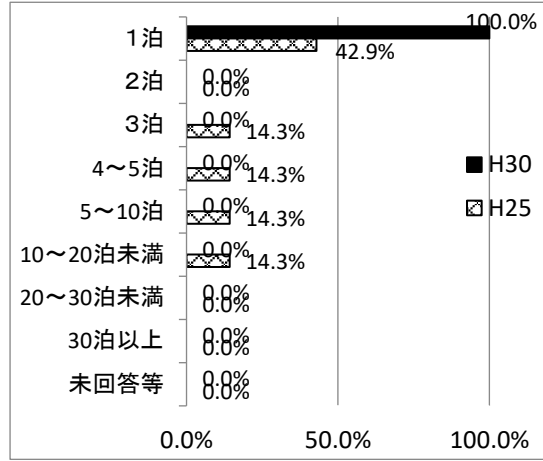
泊りがけ

ア (同居人を含む)親族・知人に預けた n=41



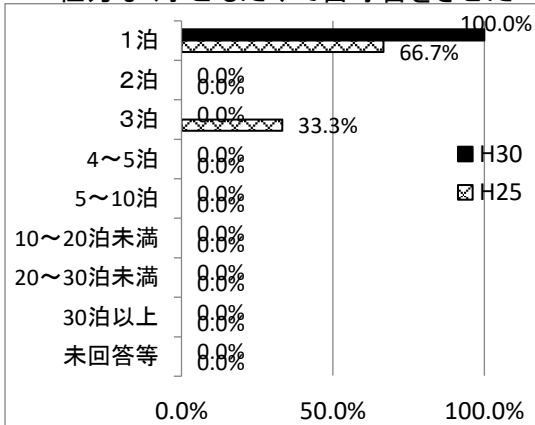
「1泊」が4割強

ウ 仕方なく子どもを同行させた n=1



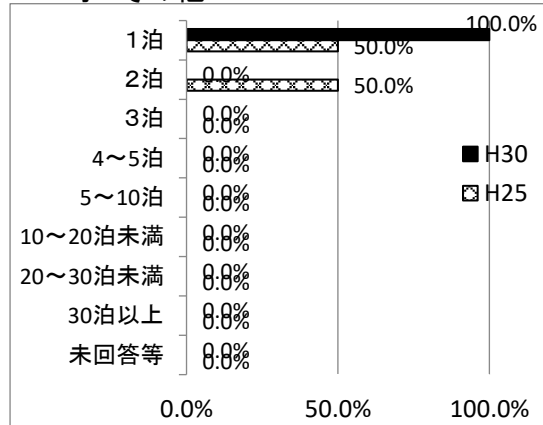
「1泊」の回答有

エ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=2



「1泊」の回答有

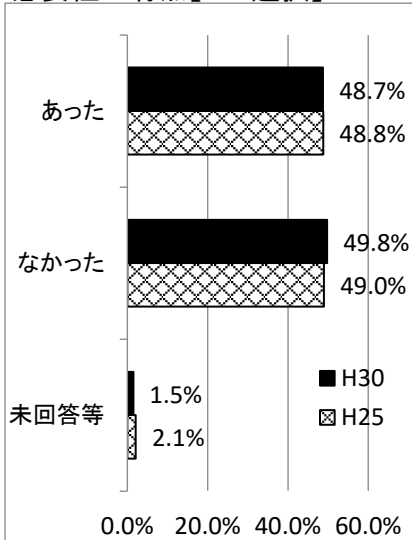
オ その他 n=1



「1泊」の回答有

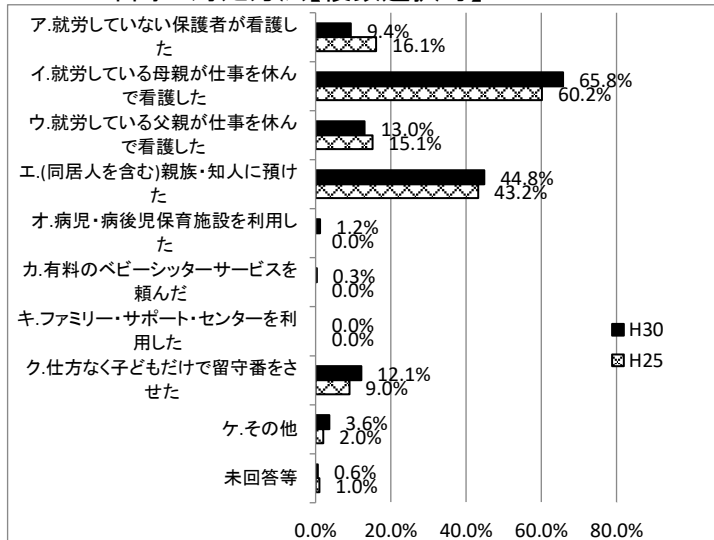
問 16 あて名のお子さんについて、この1年間(平成30年12月~平成30年11月の間)に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要がありましたか。必要があった場合はこの1年間に行った対処方法を選択し、それぞれの日数をお答えください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

必要性の有無【1つ選択】 n=677



1年間の対処方法【複数選択可】

n=330

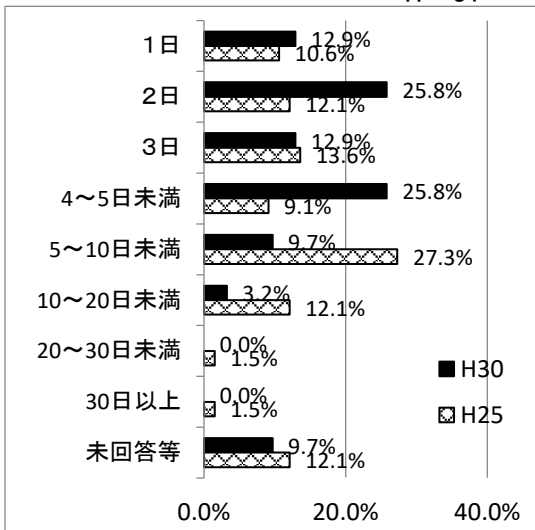


約5割が必要性が「あった」と回答し、対処方法の6割強は「就労している母親が看護した」

病気等の際の対応の必要性は約5割が「あった」(48.7%)と回答し、そのうち対処方法は「就労している母親が仕事を休んで看護した」(65.8%)が最も多くなっています。

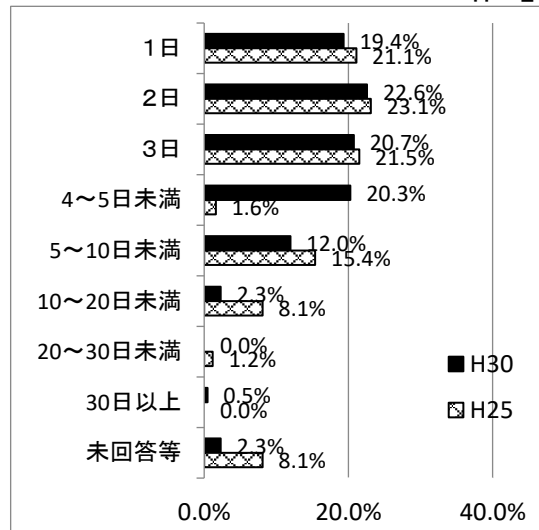
年間日数【1つ選択】

ア 就労していない保護者が看護した
n=31



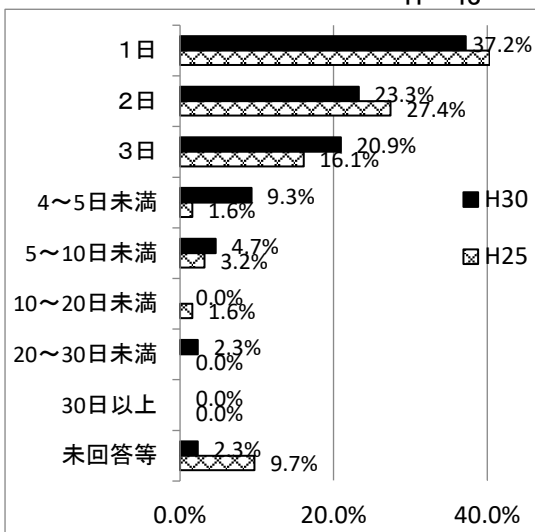
「2日」又は「4~5日」の回答が最も多い

イ 就労している母親が仕事を休んで看護した
n=217



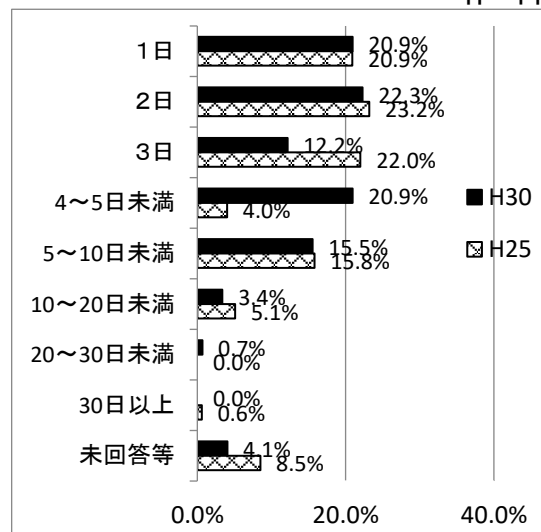
「2日」、「3日」、「4~5日」の順に多い

ウ 就労している父親が仕事を休んで看護した
n=43



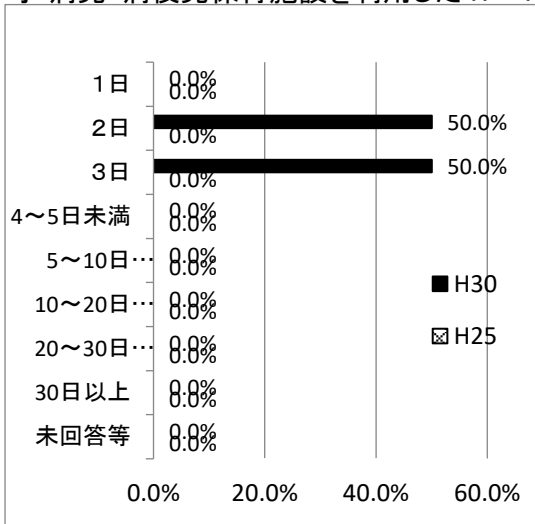
「1日」が4割弱

エ (同居人を含む)親族・知人に預けた
n=148



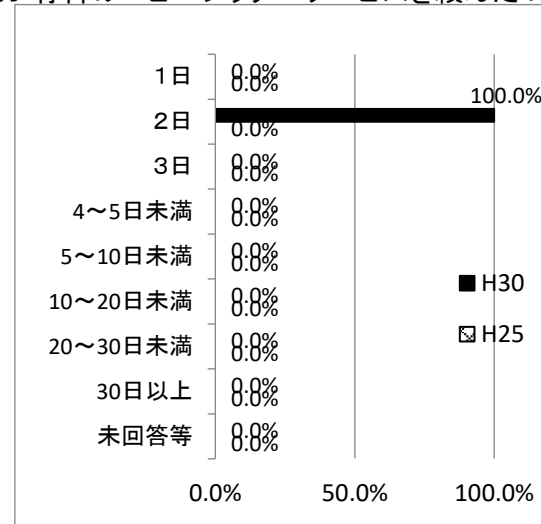
「2日」、「1日」、「4~5日」が2割強

オ 病児・病後児保育施設を利用した n=4



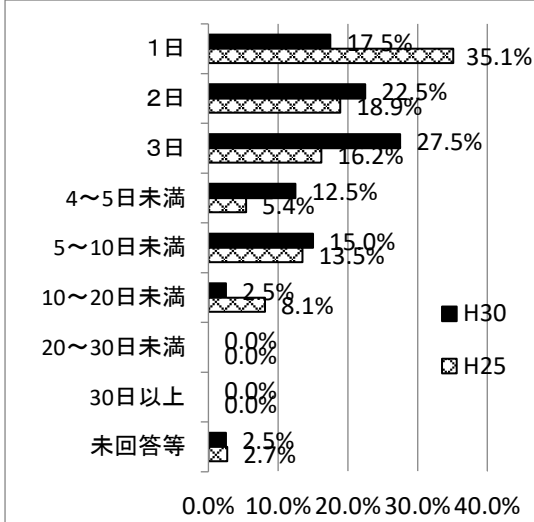
「2日」、「3日」の回答有

カ 有料のベビーシッターサービスを頼んだ n=1



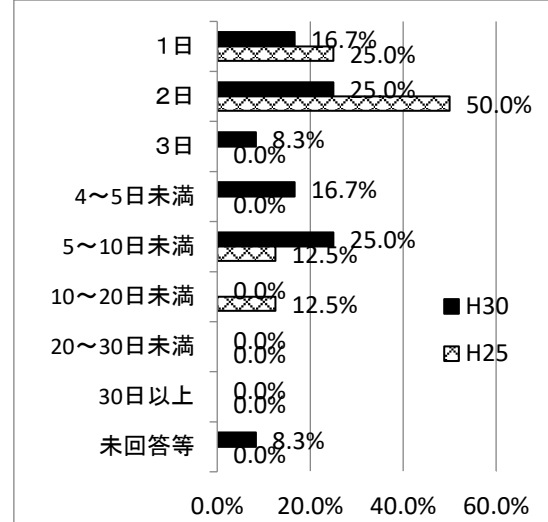
「2日」と回答有

ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた n=40



「3日」が最も多い

ケ その他 n=12

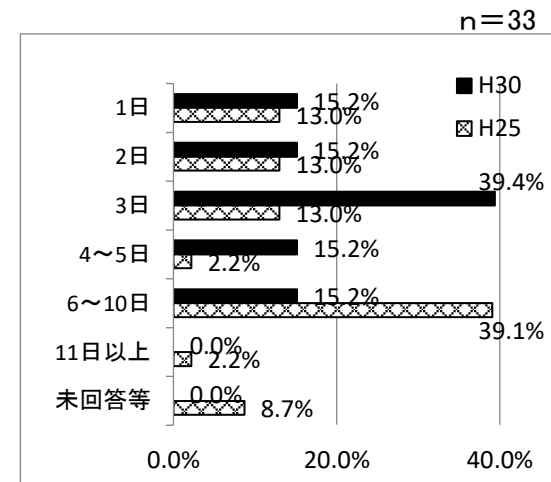
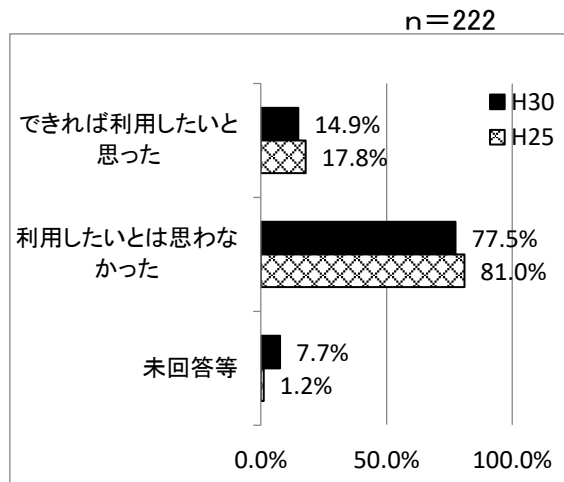


「2日」又は「5~10日」の回答が最も多い

問 17 問16の対処方法で、「イ。」または「ウ。」を選んだ方にお伺いします。その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望日数と利用したい事業形態を、思わなかった場合はその理由をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

病気の際の意向【1つ選択】

希望日数 問16でイ、ウと答えた日数の合計に対して

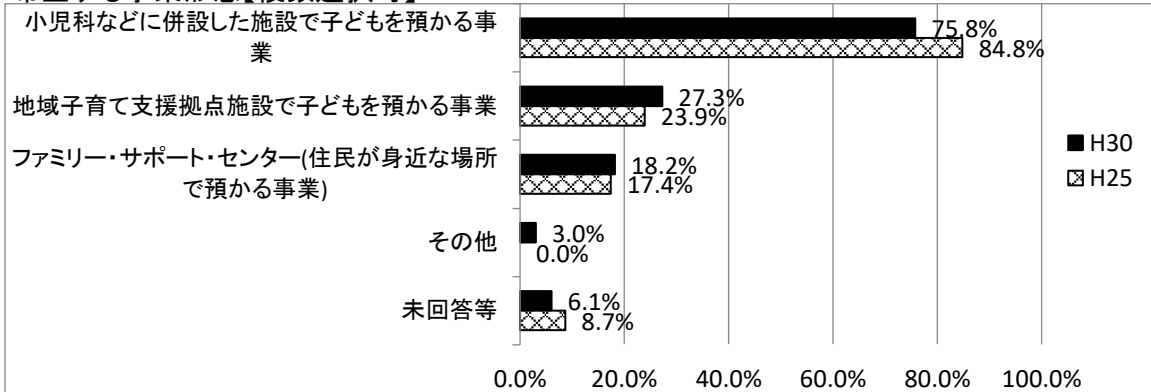


1割強が「できれば利用したいと思った」と回答し、希望日数は「3日」が最も多い

病気等の際の対処方法で1割強が「できれば利用したいと思った」(14.9%)と回答し、そのうち希望日数は「3日」(39.4%)が最も多くなっています。

希望する事業形態【複数選択可】

n=33

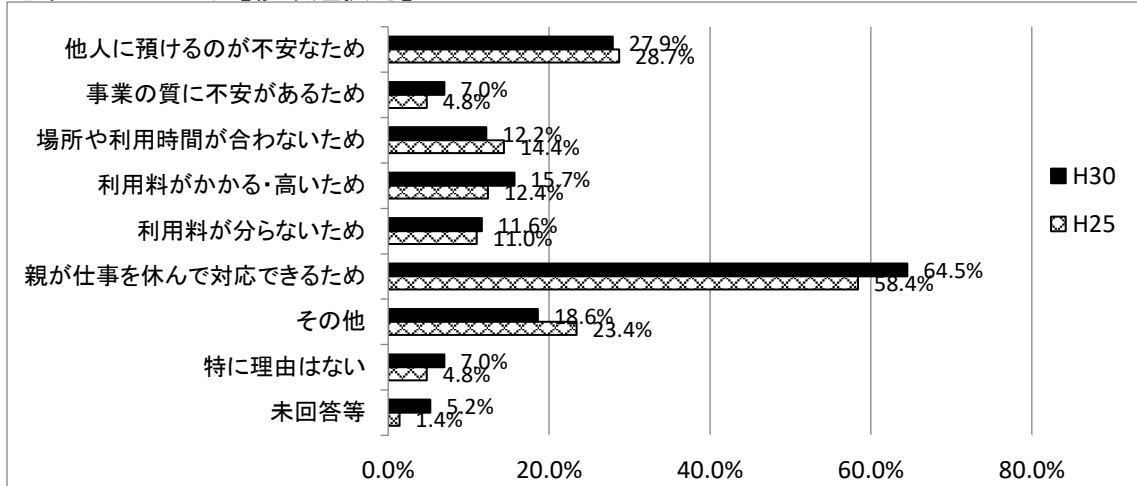


7割強が「小児科などに併設した施設で子どもを預かる事業」と回答

希望する事業形態は7割強が「小児科などに併設した施設で子どもを預かる事業」(75.8%)と回答し、最も多くなっています。

思わなかった理由【複数選択可】

n=172

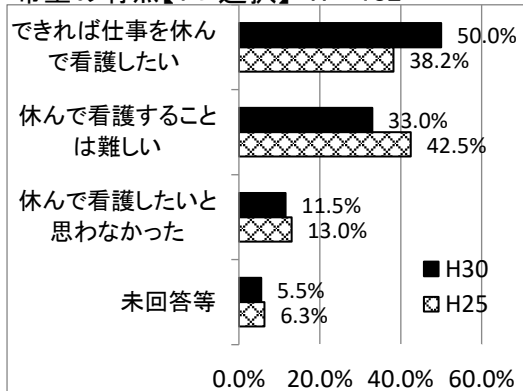


「親が仕事を休んで対応できるため」が6割強

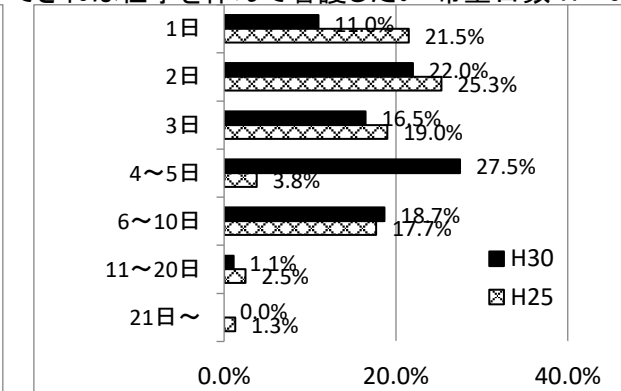
病児・病後児保育事業を利用したいとは思わなかった理由としては、「親が仕事を休んで対応できるため」(64.5%)のが最も多くなっています。

問 18 問16の対処方法で、「エ。」から「ク。」のいずれかを選んだ方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。思われた場合はできれば仕事を休んで看護したいと思う日数を、休んで看護することが難しい場合はその理由を合わせてお答えください。

希望の有無【1つ選択】 n=182



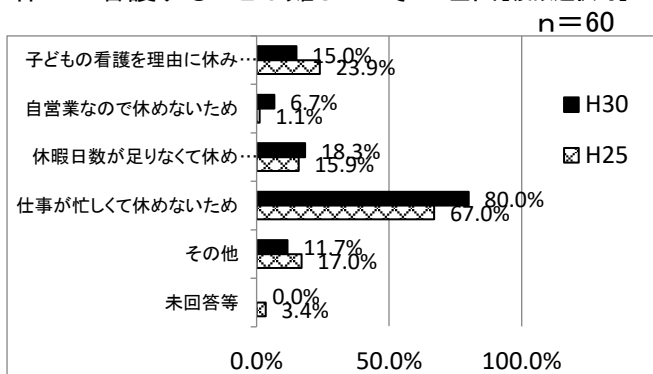
できれば仕事を休んで看護したい 希望日数 n=91



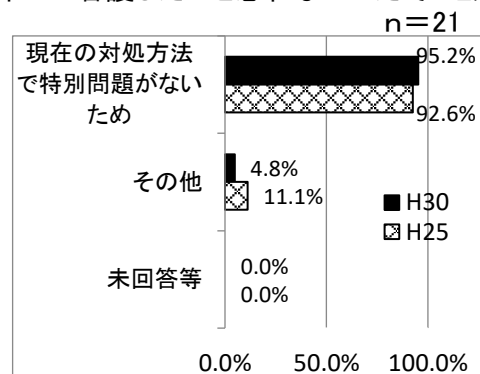
「できれば仕事を休んで看護したい」が最も多く、希望日数は「4~5日」が最も多い

病気の際の対処方法について5割が「できれば仕事を休んで看護したい」(50.0%)が最も多く、希望日数は「4~5日」(27.5%)が最も多くなっています。

休んで看護することは難しい その理由【複数選択可】 n=60



休んで看護したいと思わなかった その理由 n=21

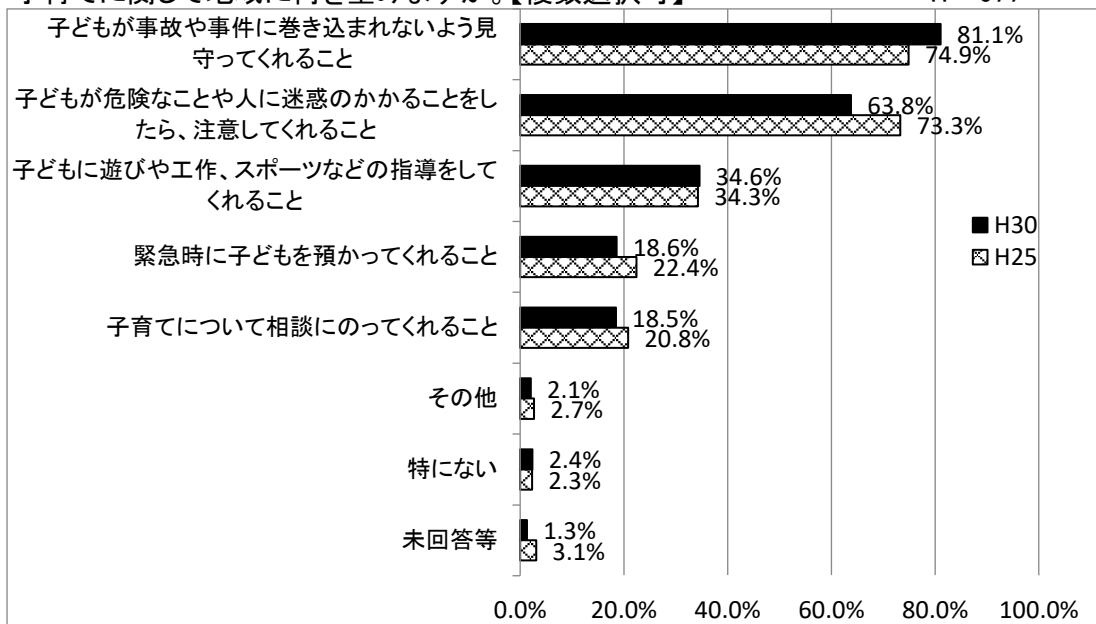


「仕事が忙しくて休めないため」、「現在の対処方法で特別問題がないため」が最も多い

休んで看護することは難しい理由について8割が「仕事が忙しくて休めないため」(80.0%)と回答し、休んで看護したいと思わなかった理由は、9割強が「現在の対処方法で特別問題がないため」(95.2%)と回答しています。

問 19 子育てに関して地域に何を望みますか。【複数選択可】

n=677

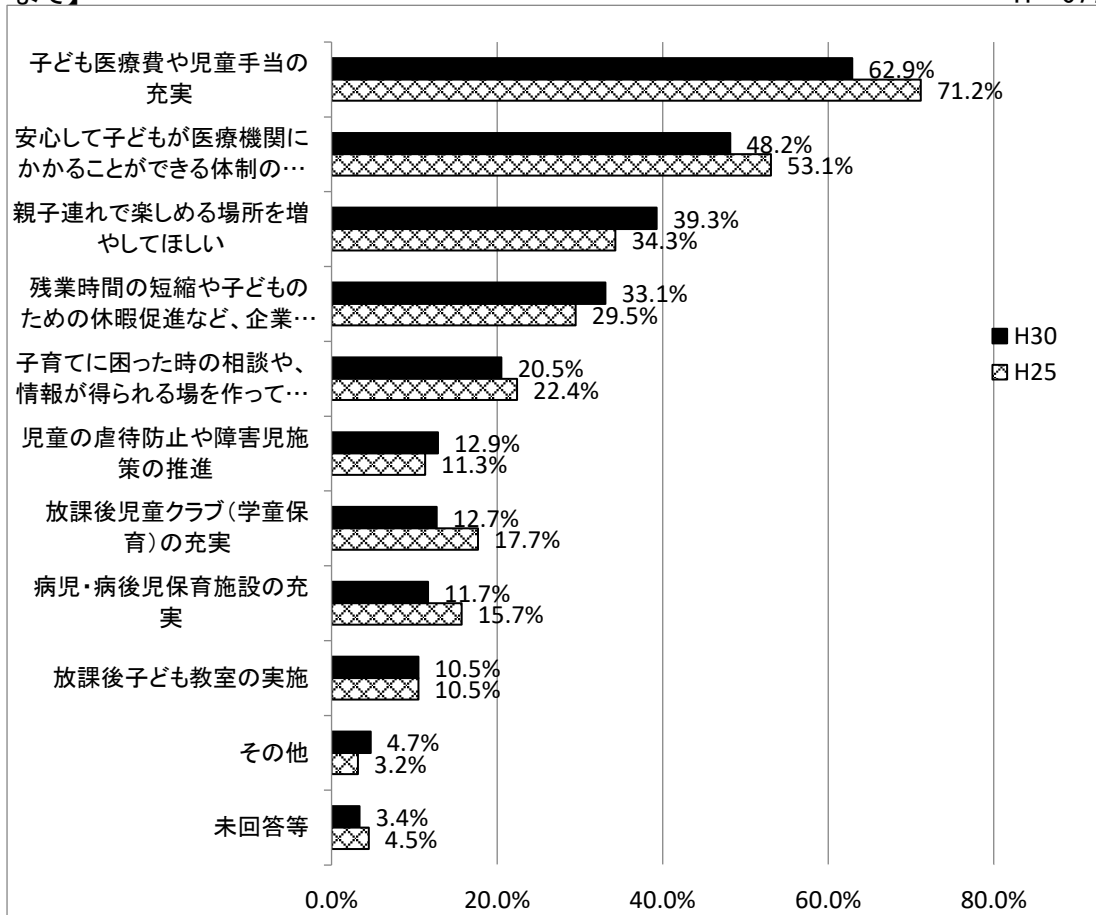


「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」が最も多い

子育てに関して地域に望むことは、「子どもが事故や事件に巻き込まれないよう見守ってくれること」(81.1%)が平成25年調査同様に最も多く、次いで「子どもが危険なことや人に迷惑のかかることをしたら、注意してくれること」(63.8%)となっています。

問 20 子どもを健やかに生み育てるために、市に対してどのようなことを期待していますか。【〇は5つまで】

n=677

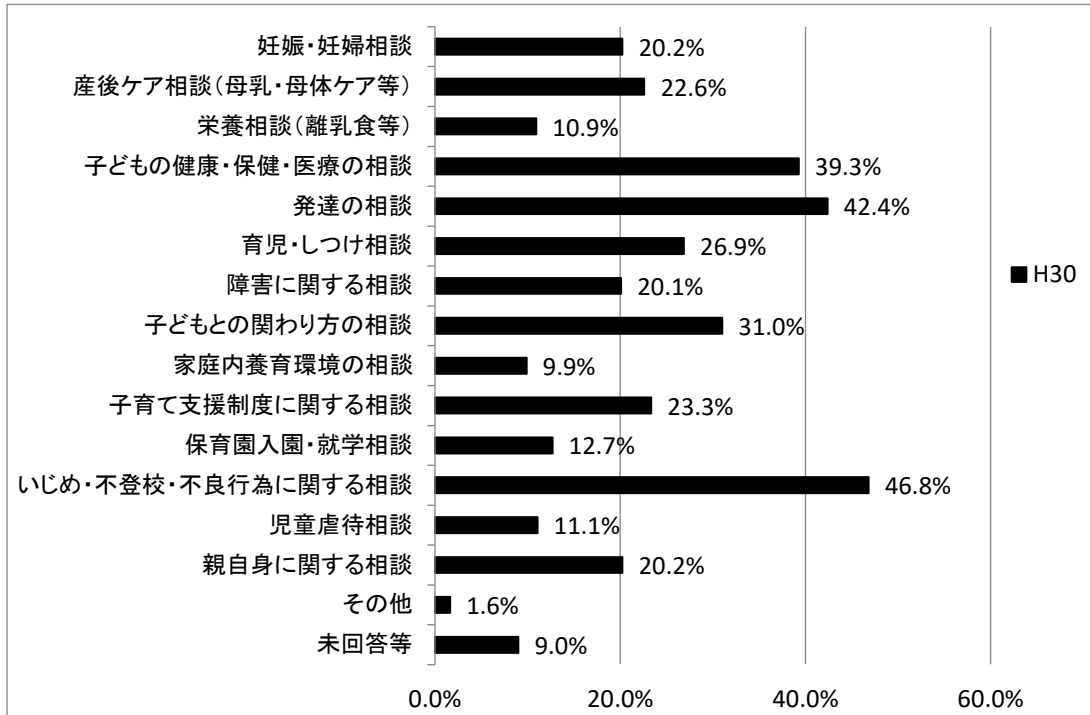


「子ども医療費や児童手当の充実」が最も多い

子育てに関して市に期待することは、「子ども医療費や児童手当の充実」(62.9%)が最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制の整備」(48.2%)となっています。

問 21 安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容について、下記から○個を選んでください。【複数選択可】

n=677



「いじめ・不登校・不良行為に関する相談」が最も多い

安心な子育てに特に必要だと感じる相談内容は、「いじめ・不登校・不良行為に関する相談」(46.8%)が最も多く、次いで「発達の相談」(42.4%)となっています。